

**一般社団法人全国清涼飲料連合会**

**清涼飲料水容器のリサイクルに関する  
消費者意識調査2026  
報告書**

2026年10月15日

調査協力機関：株式会社インテージリサーチ





# 調査の目的、設計

| 項目       | 内容                                                                                                                                                                                                                       |         |           |         |           |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------|---------|-----------|
| 調査目的     | 本調査は、清涼飲料水容器のリサイクルに関する消費者意識を調査し把握することで、リサイクル推進の課題や妨げになっていることを浮き彫りにするとともに、啓発・事業活動の成果指標とすることを目的として実施した。                                                                                                                    |         |           |         |           |
| 調査手法     | インターネットモニター調査                                                                                                                                                                                                            |         |           |         |           |
| 対象者条件    | 全国の15～69歳男女（母集団準拠）のうち、外出先でペットボトル飲料を飲用する人                                                                                                                                                                                 |         |           |         |           |
| 除外条件     | モニター登録属性の「業種：調査/マスコミ/広告代理店」は除外                                                                                                                                                                                           |         |           |         |           |
| 標本抽出方法   | インターネットモニターより条件合致者を抽出                                                                                                                                                                                                    |         |           |         |           |
| 調査期間     | 2026年9月4日～9月7日                                                                                                                                                                                                           |         |           |         |           |
| 調査対象     | 有効回答数：1,037サンプル（スクリーニング調査有効回答数：1,333サンプル）                                                                                                                                                                                |         |           |         |           |
| 謝礼の種類    | ポイント制謝礼                                                                                                                                                                                                                  |         |           |         |           |
| 本報告書の留意点 | <div>本報告書の数表は、TOTALを基準とした比率の差の検定（有意水準5%）結果を色分け表示し、有意な差がみられた結果を中心にコメントしている。</div> <div><div>■ 検定・ポイント差情報</div><table><tr><td>比率の差の検定</td><td>有意水準5%で高い</td></tr><tr><td>対TOTAL行</td><td>有意水準5%で低い</td></tr></table></div> | 比率の差の検定 | 有意水準5%で高い | 対TOTAL行 | 有意水準5%で低い |
| 比率の差の検定  | 有意水準5%で高い                                                                                                                                                                                                                |         |           |         |           |
| 対TOTAL行  | 有意水準5%で低い                                                                                                                                                                                                                |         |           |         |           |



## 報告書の見方

---

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答の割合（%）は、その質問の回答者数（n：number of caseの略）を基数として算出している。したがって、複数回答の質問は全ての割合を合計すると100.0%を超えることがある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化している。
- クロス集計の図表では、分析の軸（＝表側）とした調査回答者の属性（性別／年齢別など）でnが少ないもの（30人未満）は、標本誤差が大きくなるため、参考として図示しているが、分析の対象からは除いている。

## 結果概要

## 2026年度調査結果のポイント

---

### ● 資源に対する意識は・・・

- 資源を大事にしようと思うかで、「そう思う」（5段階TOP2）と回答した人は76.6%で、4人に3人が資源を大事にしようと思っている。
- この1年間で資源を大事にする意識が、「高まった」（5段階TOP2）と回答した人は32.8%で、30%以上の人がこの1年間で資源に対する意識が高まっている。その理由としては、「環境問題への関心が高まったため」が47.9%で最も多く、「物価上昇により節約意識、資源の有効活用意識が高まったため」が46.5%、「資源価格の高騰を知ったため」が44.7%と続く。

### ● 飲み終わったペットボトルのキャップやラベルは・・・

- 自宅では、「キャップ・ラベルともに外している」が82.0%であるのに対し、外出先では屋内39.7%、屋外34.7%にとどまり、自宅より低い。また、「キャップ・ラベルともに外していない」は屋内45.9%、屋外52.0%で、屋外では半数を超える。
- 外出先でキャップやラベルを外さない理由は、屋内・屋外ともに「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」（屋内：43.9%、屋外：47.5%）が最も多く、「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」（屋内：33.4%、屋外：29.7%）が続く。

## 2026年度調査結果のポイント

---

### ● リサイクルボックス（RB）の利用状況は・・・

- 自動販売機横のRBに清涼飲料水の缶・ビン・ペットボトル容器以外のものを「入れたことがある」と回答した人は29.9%。入れたものとしては、「プラカップ」が31.6%で最も多く、「レジ袋」が18.7%で続く。
- RBが清涼飲料水の缶・ビン・ペットボトル容器を回収するためであることを「知っている」と回答した人は73.3%。また、RBに清涼飲料水の缶・ビン・ペットボトル容器以外は入れてはいけないことを「知っていた」と回答した人は78.1%。
- RBに中身を残したまま「入れたことがある」と回答した人は、11.8%。

### ● 「ボトルtoボトル」について・・・

- ボトルtoボトルについて、「知っていた」と回答した人は、49.4%で約半数。
- 「ボトルtoボトル」を知っていた人のうち、それが資源の有効活用につながることを「知っていた」と回答した人は92.6%で、認知者の大半がその有効性を理解していた。

## 結果概要

### 【ペットボトル・キャップ・ラベルの分別・排出】

|                                | 自宅                                                             | 外出先<br>(オフィスや学校などの屋内)                                                  | 外出先<br>(街中や公園などの屋外)                                               |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| ● 飲み終わったペットボトルはどうしているか         | 「自治体の資源回収に出している」59.1%<br>「スーパー・コンビニエンスストアなどの回収ボックスに持っていく」25.5% | 「ペットボトル専用のリサイクルボックスに入れる」66.2%<br>「びん・缶・ペットボトルの飲料容器のリサイクルボックスに入れる」35.1% | 「自動販売機横のリサイクルボックスに入れる」47.3%<br>「コンビニエンスストアの回収箱に入れる」36.5%          |
| ● 飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか | 「キャップ・ラベルともに外している」82.0%<br>「キャップ・ラベルともに外していない」7.7%             | 「キャップ・ラベルともに外している」39.7%<br>「キャップ・ラベルともに外していない」45.9%                    | 「キャップ・ラベルともに外している」34.7%<br>「キャップ・ラベルともに外していない」52.0%               |
| ● 外したキャップはどのようにしているか           | 「自治体の容器包装プラスチックとして出す」35.8%<br>「スーパーなど店頭回収に持ち込みリサイクルする」30.3%    | 「専用のボックスに入れる」53.5%<br>「ペットボトルなど飲料のリサイクルボックスと一緒に入れる」26.4%               | 「専用のボックスに入れる」43.5%<br>「持ち帰り、個別回収に出す」30.8%                         |
| ● 外したラベルはどのようにしているか            | 「自治体の容器包装プラスチックとして出す」46.6%<br>「可燃ごみとして出す」31.6%                 | ※未聴取※                                                                  | ※未聴取※                                                             |
| ● キャップやラベルを外さない理由              | 「手間がかかり面倒だから」41.6%<br>「キャップやラベルを外さなくてよいと思っている」29.5%            | 「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」43.9%<br>「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」33.4%      | 「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」47.5%<br>「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」29.7% |

## 結果概要

### 【資源に対する意識】 **New**

#### ● 資源に対する意識は・・・

- 資源を大事にしようと思うかは、TOP2※が76.6% ※選択肢5段階：「1.そう思う」「2.←」「3.どちらとも言えない」「4.→」「5.そう思わない」のうち、「1.そう思う」「2.←」の合計値
- 直近1年間で資源を大事にする意識が「高まった」（5段階TOP2）※は、32.8% ※選択肢5段階：「1.高まった」「2.←」「3.どちらとも言えない」「4.→」「5.下がった」のうち、「1.高まった」「2.←」の合計値
- 意識が高まった理由：「環境問題への関心が高まったため」が47.9%で最も多く、「物価上昇により節約意識、資源の有効活用意識が高まったため」が46.5%、「資源価格の高騰を知ったため」が44.7%で続く。

### 【自宅での分別・排出】

#### ● ペットボトルのキャップがリサイクルされるなら「個別に集める」が70.6%

#### ● ペットボトルのラベルがリサイクルされるなら「個別に集める」が61.7%

#### ● 自宅でペットボトルを排出する際に「中身を空にしている」が98.6%

#### ● 自宅で飲んだ後のペットボトルの出し方について・・・

- 自治体のルールを「知っている」が87.9%
- 自治体のルールを知らない理由：「どこで知るかわからない」が61.3%で最も多く、「興味がない」が27.9%で続く

## 結果概要

### 【外出先（屋内・屋外）での分別・排出】

- 自動販売機横のボックスはリサイクルボックスであることを「知っている」が73.3%
- 1年間で自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を「入れたことがある」が29.9% **New**※
  - 入れたことがあるもの：「プラカップ」が31.6%で最も多く、「レジ袋」が18.7%、「お酒類の容器」が16.8%で続く
  - 入れた理由：「ほかにいれる場所がなかった」が44.2%で最も多く、「家まで持ち帰りたくなかった」が18.4%で続く※2026年度から、過去1年間に限定して聴取
- 自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を入れてはいけないことを「知っていた」が78.1% **New**
- 自動販売機横のリサイクルボックスに投入した清涼飲料容器の購入先：「リサイクルボックスが設置された自動販売機」が45.4%で最も多く、「スーパー・コンビニエンスストアなどの店舗」が35.7%で続く **New**
- リサイクルボックスに、中身を残したまま飲料容器を「入れたことがある」が11.8%
  - 中身を残したまま（飲み残し）入れた理由：「手間がかかり面倒だから」が37.7%で最も多く、「中身は空にしなくてよいと思っている」が36.1%で続く
- 飲料容器のリサイクルに関する認知状況
  - 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」であることを「知っていた」が70.0%
  - 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすることを「知っていた」が62.5%

## 結果概要

### 【公共空間でのリサイクルボックス等認知】

- 公共のごみ箱やリサイクルボックスは「必要だと思う」が88.6%
  - ごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所：「駅」が82.7%で最も多く、「公共機関」が75.8%で続く
- 新機能の自動販売機横のリサイクルボックスを「知っていた」が54.2%

### 【ペットボトルのリサイクル認知】

- 飲み終わった後のペットボトルはどうなっていると思うかについては、「資源としてリサイクルされている」が78.2%で最も多く、「燃やされている」が5.5%で続く
- ペットボトルのリサイクルに関する認知状況
  - ペットボトルが資源として、リサイクルされていること : 91.1%
  - 日本のペットボトルがほとんどリサイクルされていること : 62.6%
  - ペットボトルが再びペットボトルになる「ボトルtoボトル」 : 49.4%
  - ペットボトルは単一素材であるためリサイクルに適していること : 41.2%
- ペットボトルはリサイクルされて何になると思うかは、「ペットボトル」が65.5%で最も多く、「衣類」が48.6%、「トレー」が40.0%で続く

## 結果概要

### 【リサイクルペットボトル認知・イメージ等】

- リサイクルペットボトルを「知っている」が59.4%
- リサイクルペットボトルに対するイメージは、TOP2※が93.2% ※選択肢5段階：「1.良い」「2.←」「3.どちらとも言えない」「4.→」「5.良くない」のうち、「1.良い」「2.←」の合計値

### 【リサイクル・資源循環に対する意識】 **New**

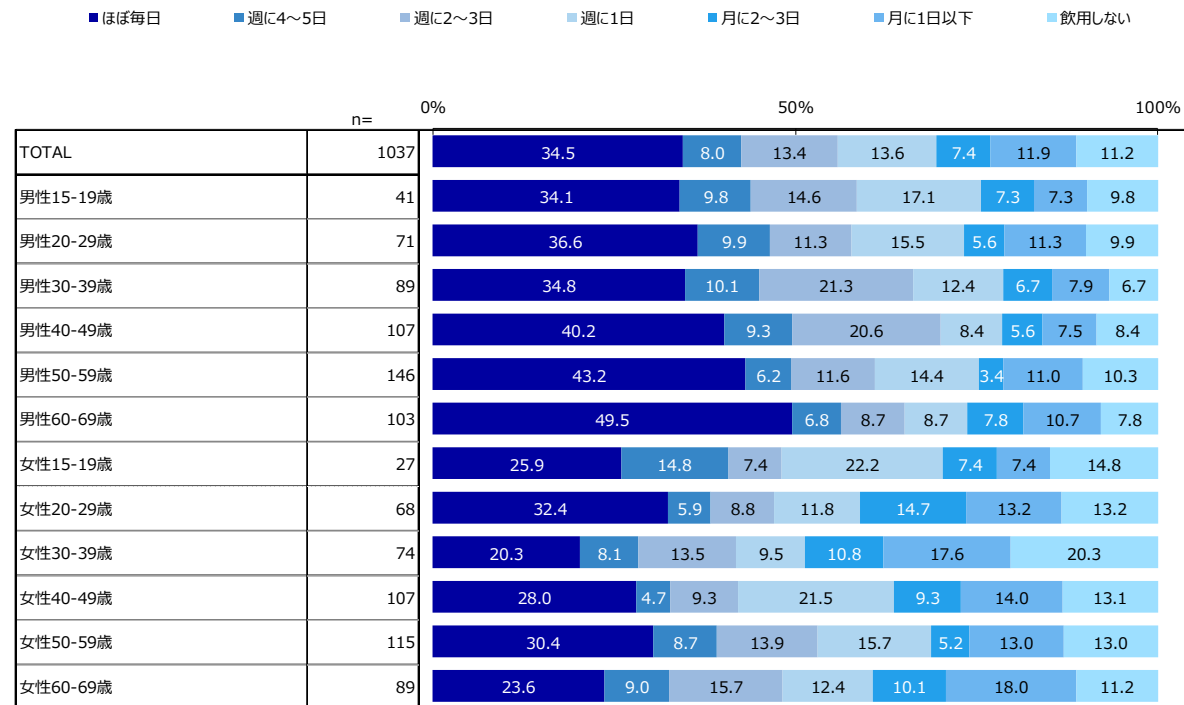
- ペットボトルのリサイクルに関する今後取り組み意向TOP2※
  - 外出先（オフィスや学校などの屋内）で、飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルを外すことに取り組みたい：70.8%
  - 外出先（街中や公園などの屋外）で、飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルを外すことに取り組みたい：68.5%
  - 外出先（街中や公園などの屋外）で、リサイクルボックスがないときは、飲み終わったペットボトルを自宅へ持ち帰ることに取り組みたい：73.3%
- 資源を大事にする活動に対する取り組みたいTOP2※が75.5%

※選択肢5段階：「1.取り組みたい」「2.←」「3.どちらとも言えない」「4.→」「5.取り組みたいと思わない」のうち、「1.取り組みたい」「2.←」の合計値

## 結果詳細

## ペットボトル飲料を飲む頻度:自宅での飲用 (SA)

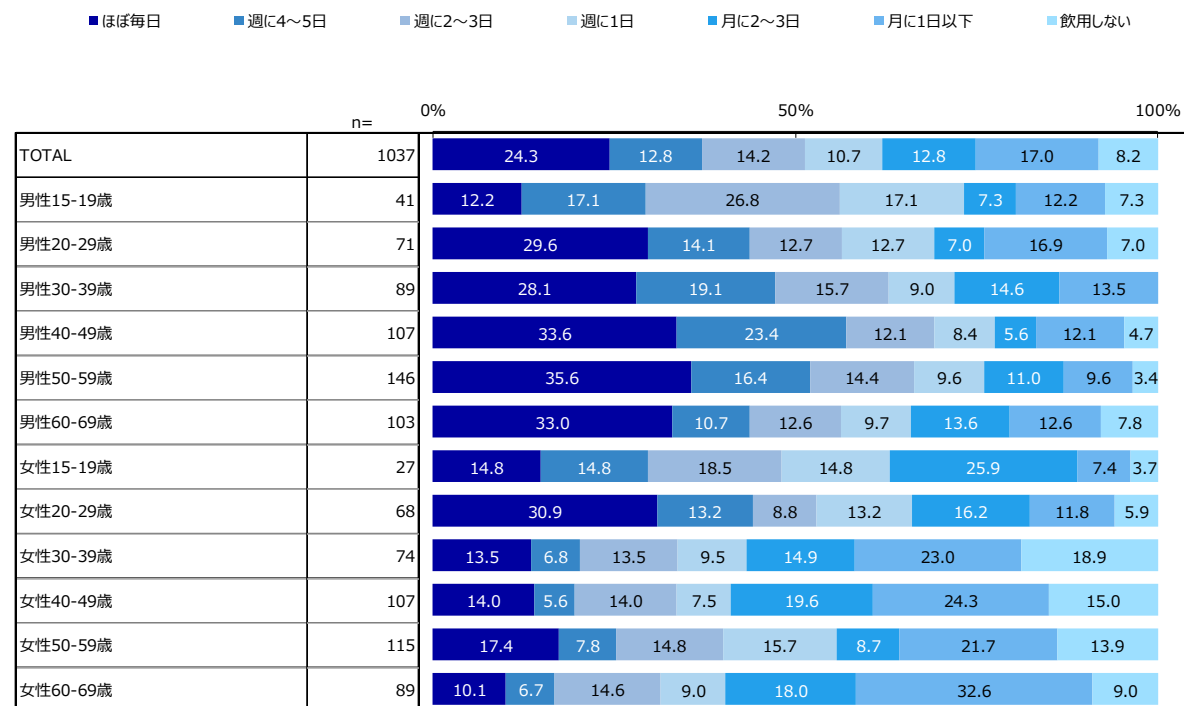
- TOTALでは、「ほぼ毎日」が最も高く、34.5%。「週に1日」13.6%、「週に2～3日」13.4%が続く。
- 性年代別にみると、「ほぼ毎日」は、男性60-69歳（49.5%）が他と比べて高くなっている。



SCRQ3 あなたは、どのくらいの頻度でペットボトルの飲料を飲んでいますか。自宅での飲用と自宅以外での飲用それぞれについてお答えください。自宅での飲用

## ペットボトル飲料を飲む頻度:外出先（オフィスや学校など屋内）での飲用（SA）

- TOTALでは、「ほぼ毎日」が最も高く、24.3%。「月に1日以下」17.0%、「週に2～3日」14.2%が続く。
- 性年代別にみると、「ほぼ毎日」は、男性50-59歳（35.6%）が他と比べて高い。一方で、女性は20-29歳のみ「ほぼ毎日」の割合が最も高いが、30歳以上の年代は「月に1日以下」の割合が最も高くなっている。

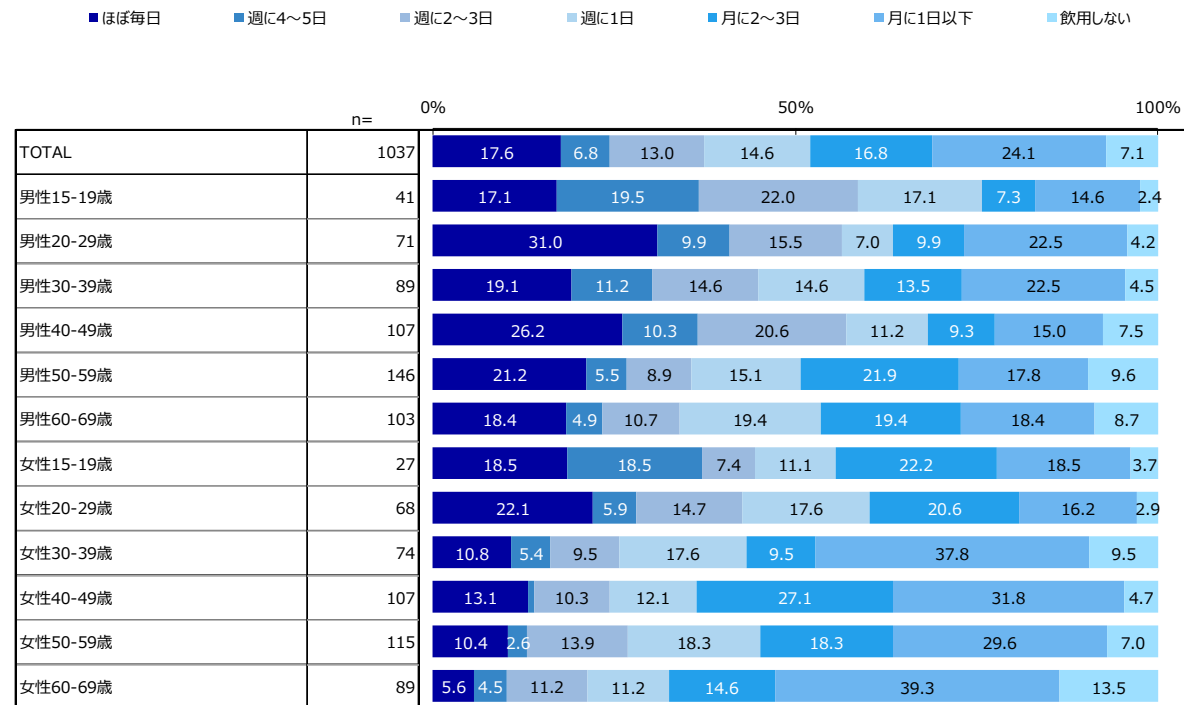


非表示：1%未満

SCRQ3 あなたは、どのくらいの頻度でペットボトルの飲料を飲んでいきますか。自宅での飲用と自宅以外での飲用それぞれについてお答えください。外出先（オフィスや学校など屋内）での飲用

## ペットボトル飲料を飲む頻度:外出先（屋外）での飲用（SA）

- TOTALでは、「月に1日以下」が最も高く、24.1%。「ほぼ毎日」17.6%、「月に2～3日」16.8%が続く。
- 性年代別にみると、「月に1日以下」は、女性60-69歳（39.3%）、「ほぼ毎日」は、男性20-29歳（31.0%）が他と比べて高くなっている。

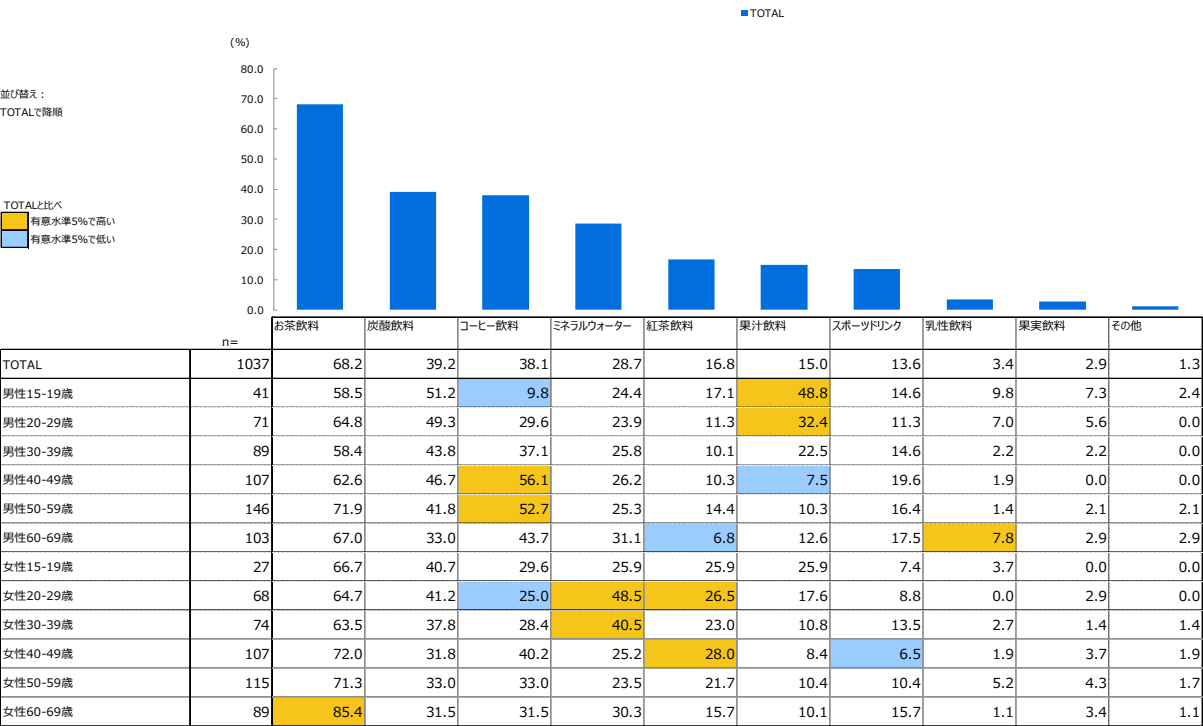


非表示：1%未満

SCRQ3 あなたは、どのくらいの頻度でペットボトルの飲料を飲んでいますか。自宅での飲用と自宅以外での飲用それぞれについてお答えください。外出先（屋外）での飲用

# 普段飲んでいる清涼飲料水の 카테고리 (MA)

- TOTALでは、「お茶飲料」が最も高く、68.2%。「炭酸飲料」39.2%、「コーヒー飲料」38.1%が続く。
- 性年代別にみると、「お茶飲料」は、女性60-69歳（85.4%）、「コーヒー飲料」は、男性40-49歳（56.1%）が他と比べて高くなっている。

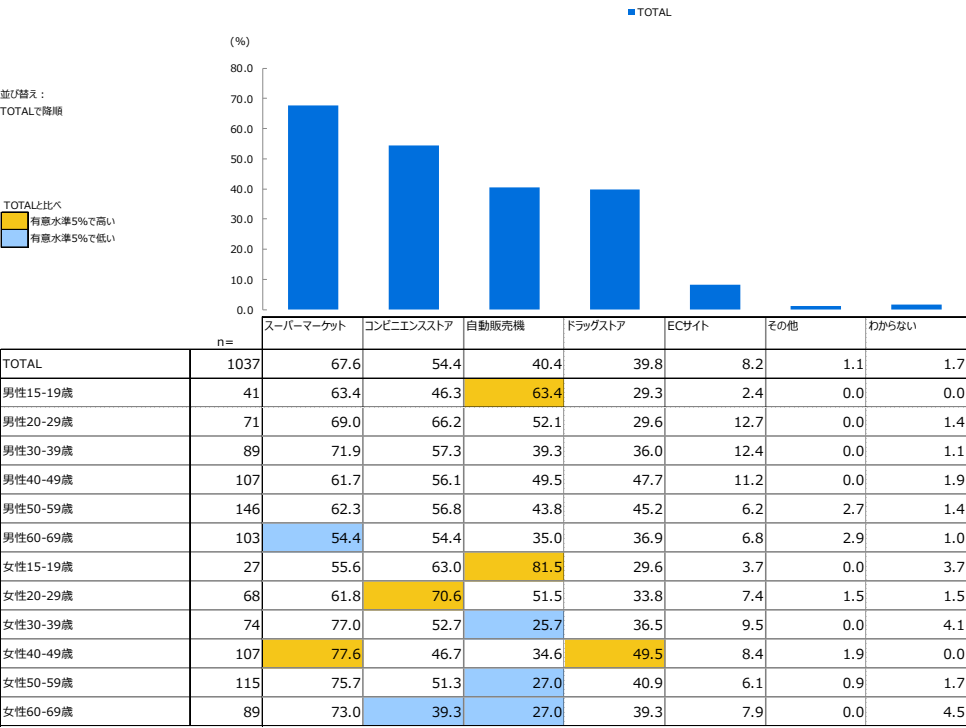


SCRQ4 普段飲んでいる清涼飲料水の 카테고리をお答えください。（複数回答可。頻度が高いものから3つまで）



# 普段清涼飲料水を購入する場所（MA）

- TOTALでは、「スーパーマーケット」が最も高く、67.6%。「コンビニエンスストア」54.4%、「自動販売機」40.4%が続く。
- 性年代別にみると、「スーパーマーケット」は、女性40-49歳（77.6%）、「コンビニエンスストア」は、女性20-29歳（70.6%）が他と比べて高い。また、「自動販売機」は、男女ともに15-19歳（男性：63.4%、女性：81.5%）が他と比べて高くなっている。

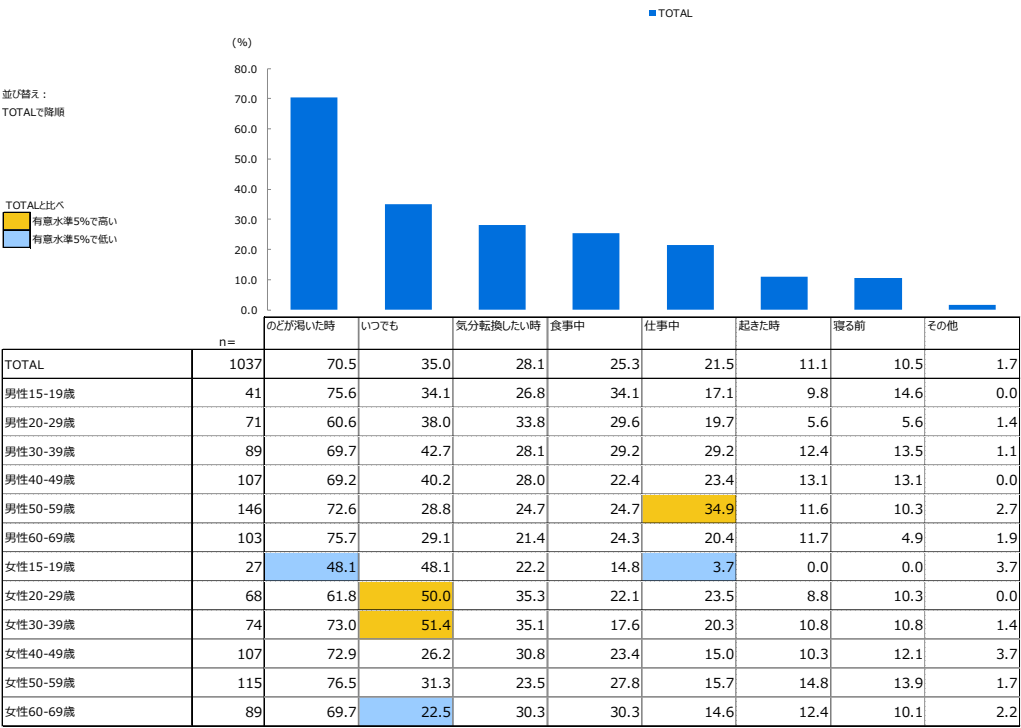


SCRQ5 普段、清涼飲料水を購入する場所をお答えください。



# 清涼飲料水はどんな時に飲むか（MA）

- TOTALでは、「のどが渴いた時」が最も高く、70.5%。「いつでも」35.0%、「気分転換したい時」28.1%が続く。
- 性年代別にみると、「のどが渴いた時」は、女性50-59歳（76.5%）、「仕事中」は、男性50-59歳（34.9%）が他と比べて高くなっている。

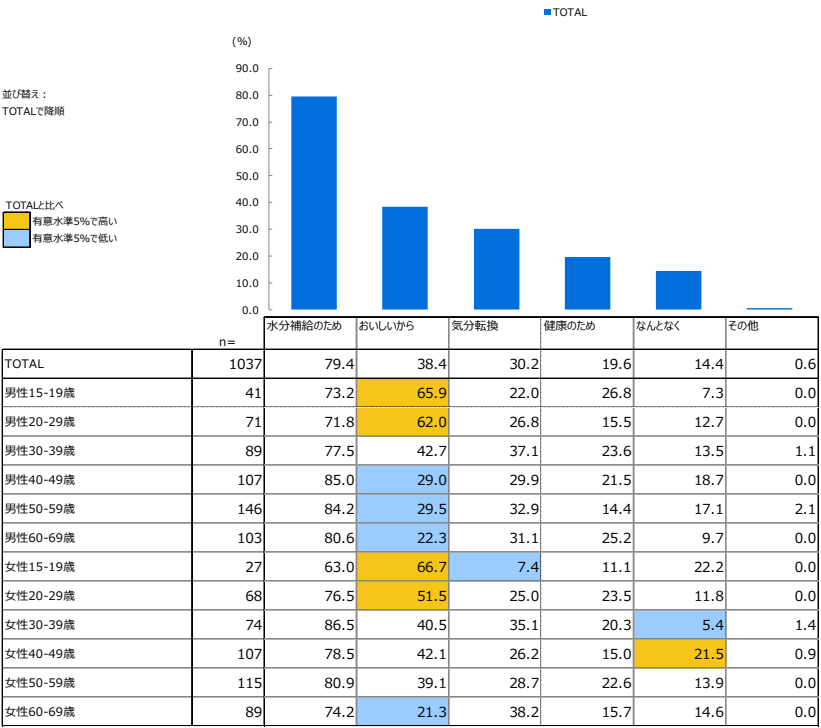


SCRQ6 清涼飲料水はどんな時に飲みますか。



# 清涼飲料水を飲む理由（MA）

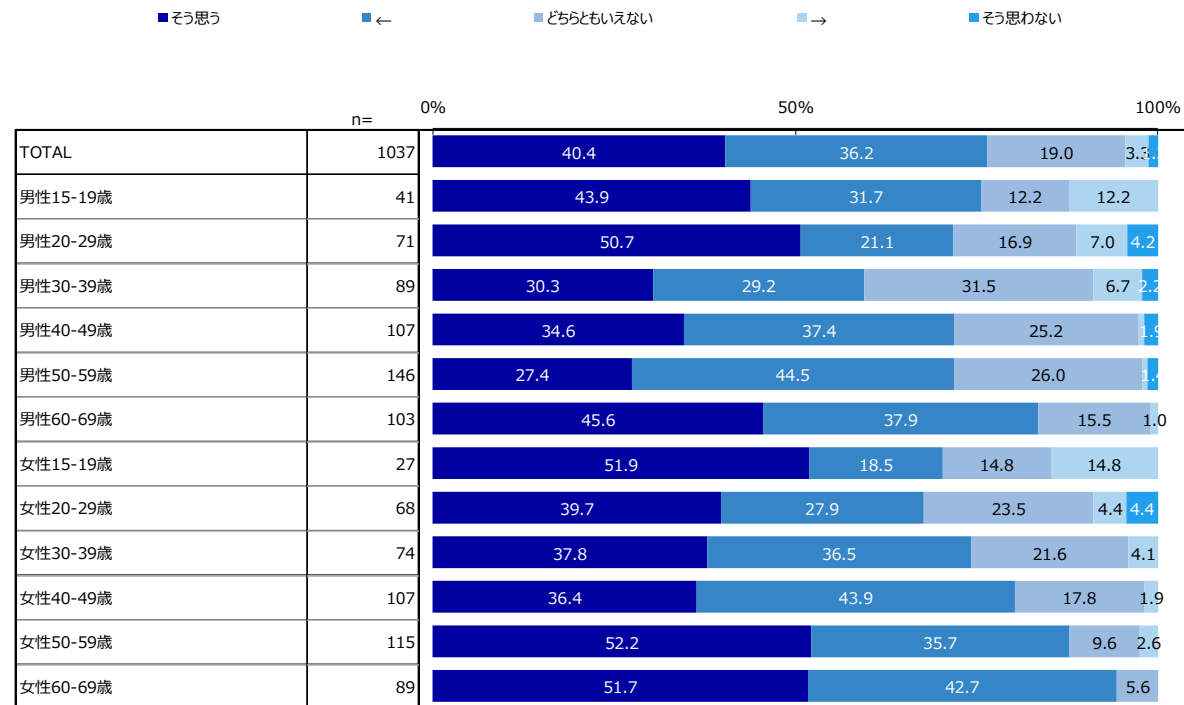
- TOTALでは、「水分補給のため」が最も高く、79.4%。「おいしいから」38.4%、「気分転換」30.2%が続く。
- 性年代別にみると、「水分補給のため」は、女性30-39歳（86.5%）、「おいしいから」は、女性15-19歳（66.7%）が他と比べて高くなっている。



SCRQ7 清涼飲料水を飲む理由であてはまるものをお答えください。

## 資源に対する意識度（SA）

- TOTALでは、「そう思う」が最も高く、40.4%。「←（そう思うより）」36.2%、「どちらともいえない」19.0%が続く。
- 性年代別にみると、「そう思う」「←（そう思うより）」のTOP2は、女性60-69歳（94.4%）、女性50-59歳（87.9%）が他と比べて高くなっている。

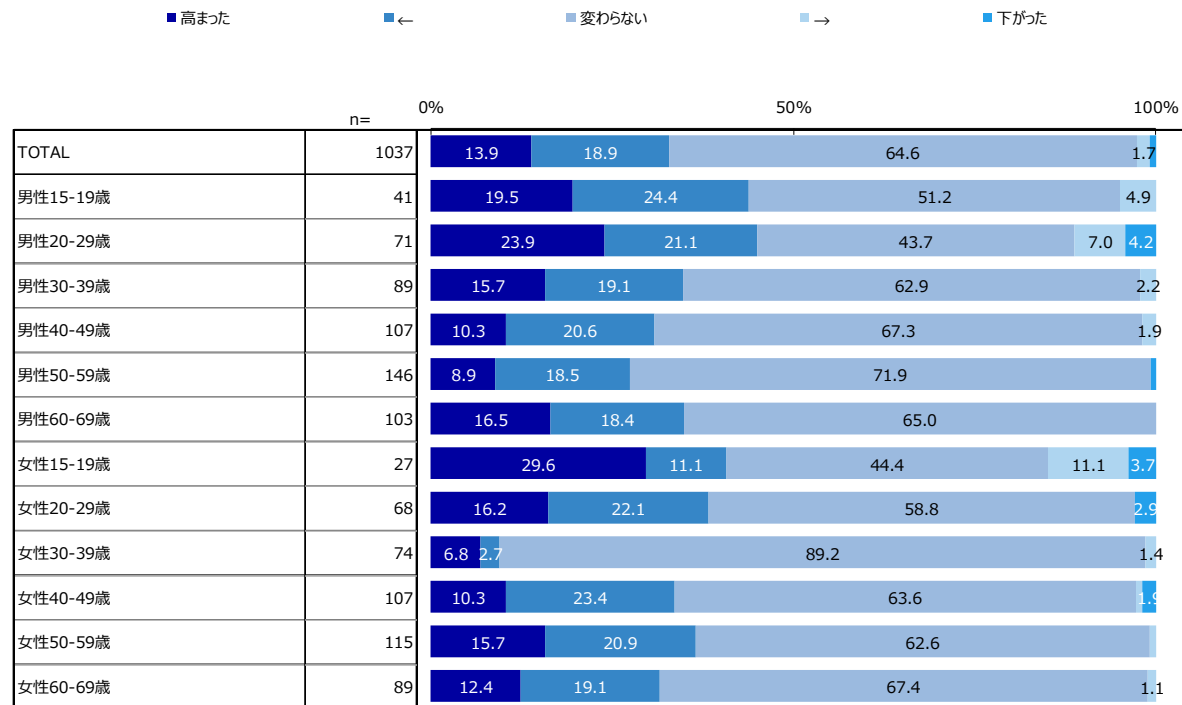


非表示：1%未満

Q1 あなたは、資源を大切にしようと思いますか。

## 直近1年間における資源に対する意識変化（SA）

- TOTALでは、「変わらない」が最も高く、64.6%。「←（意識が高まったより）」18.9%、「高まった」13.9%が続く。
- 性年代別にみると、「意識が高まった」「←（意識が高まったより）」のTOP2は、男性・女性ともに若年層（15-19歳／20-29歳）が他と比べて高い。一方で、「変わらない」は、女性30-39歳（89.2%）が他に比べて高くなっている。

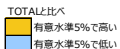


非表示：1%未満

Q2 あなたは、この1年間で資源を大事にする意識に変化はありましたか。

11/11/2019

- 並び替え：  
TOTALで降順

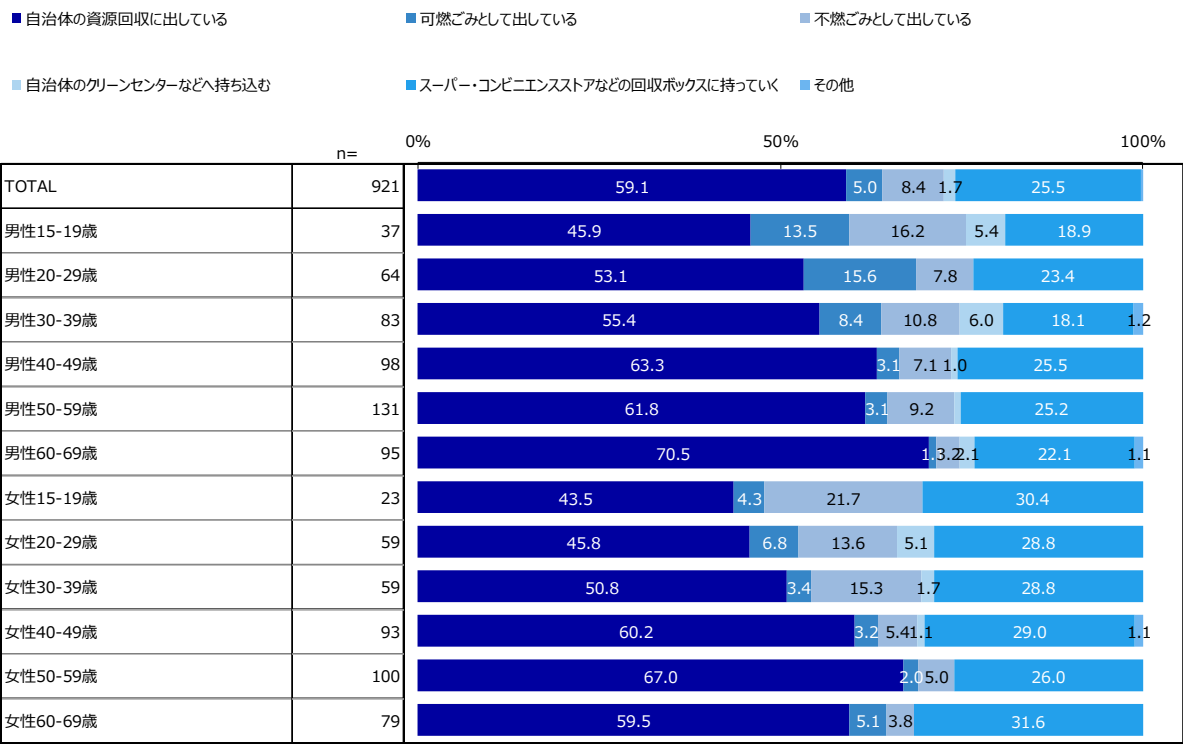


21



# 自宅でペットボトルの排出方法（SA）

- TOTALでは、「自治体の資源回収に出している」が最も高く、59.1%。「スーパー・コンビニエンスストアなどの回収ボックスに持っていく」25.5%、「不燃ごみとして出している」8.4%が続く。
- 性年代別にみると、「自治体の資源回収に出している」は、男性60-69歳（70.5%）が他と比べて高く、男性・女性ともに若年層（15-19歳／20-29歳）の方が低い傾向になっている。

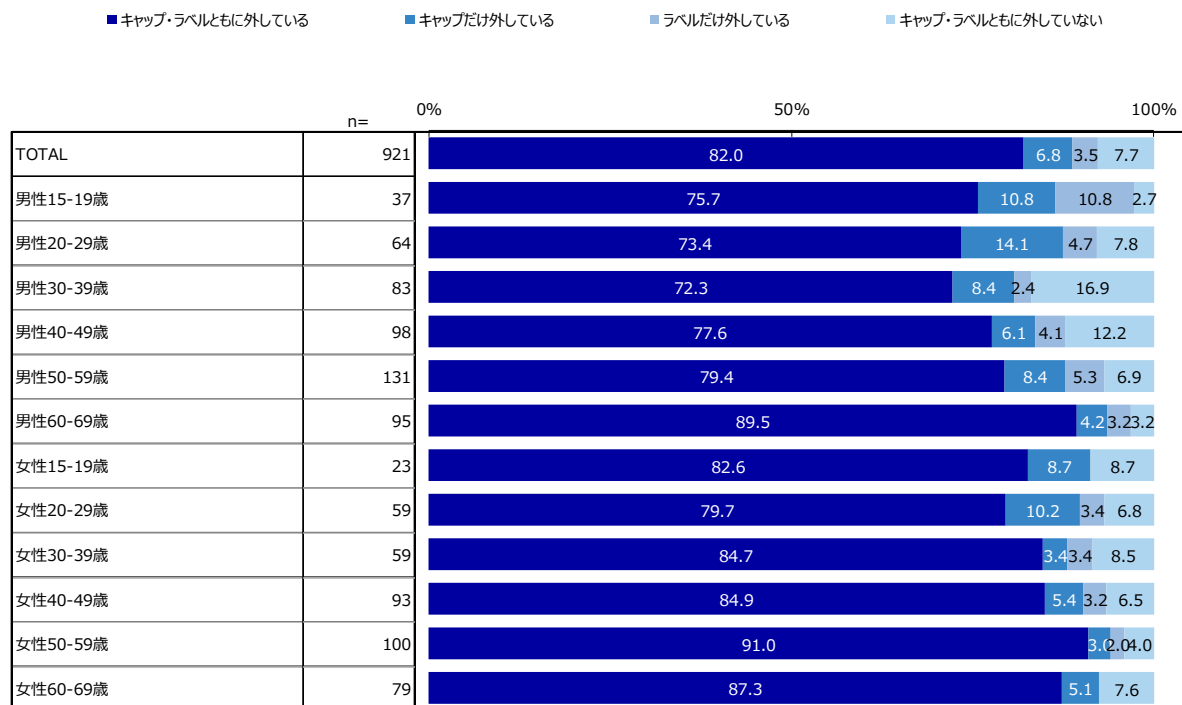


非表示：1%未満

Q4 自宅で飲んだあとのペットボトルはどうしていますか。

## 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか（SA）

- TOTALでは、「キャップ・ラベルともに外している」が最も高く、82.0%。「キャップ・ラベルともに外していない」7.7%、「キャップだけ外している」6.8%が続く。
- 性年代別にみると、「キャップ・ラベルともに外している」は、全性年代70%を超えているが、その中でも女性50-59歳（91.0%）が他と比べて高くなっている。

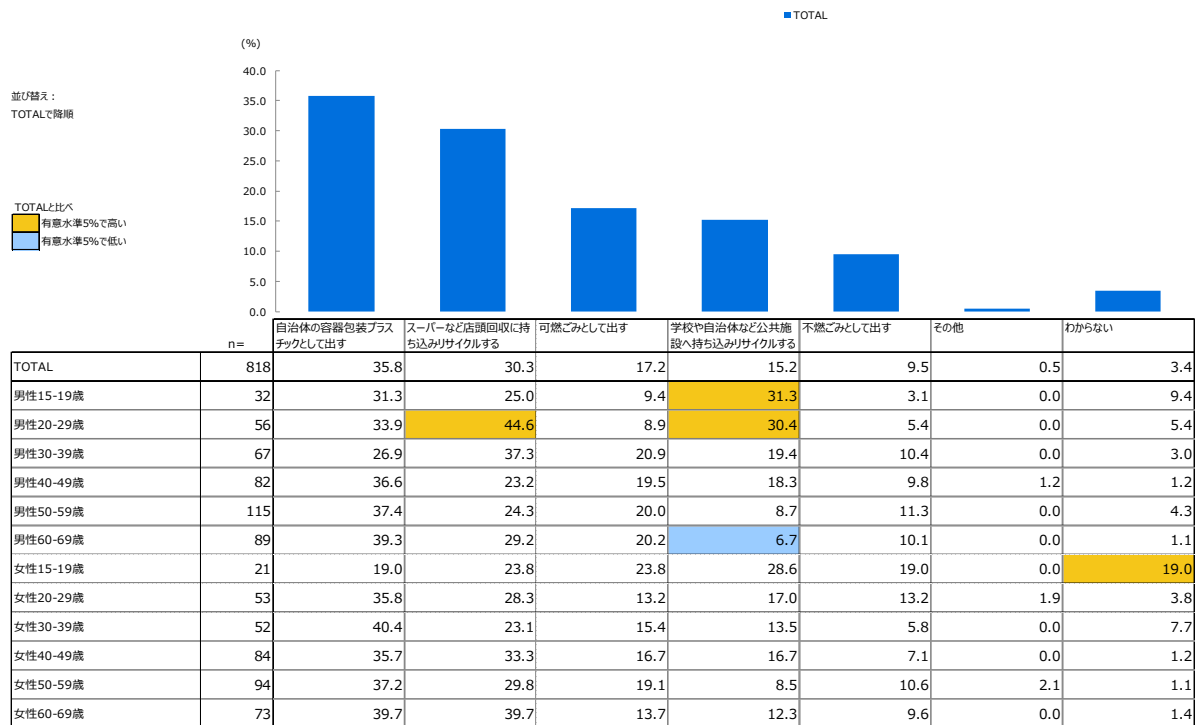


非表示：1%未満

Q5 自宅で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外していますか。

## 【自宅】外したキャップやラベルはどのようにしているか:キャップ（MA）

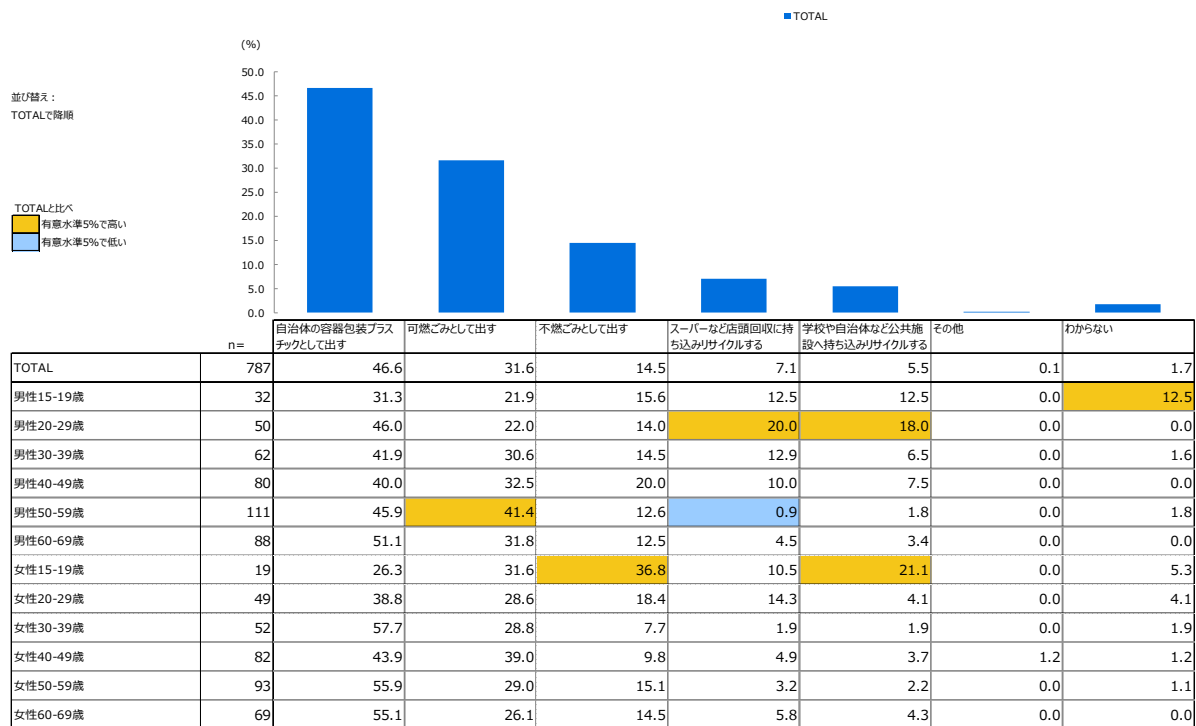
- TOTALでは、「自治体の容器包装プラスチックとして出す」が最も高く、35.8%。「スーパーなど店頭回収に持ち込みリサイクルする」30.3%、「可燃ごみとして出す」17.2%が続く。
- 性年代別にみると、「スーパーなど店頭回収に持ち込みリサイクルする」は、男性20-29歳（44.6%）、「学校や自治体など公共施設へ持ち込みリサイクルする」は、男性15-19歳（31.3%）、男性20-29歳（30.4%）が他と比べて高くなっている。



Q6 その外したキャップやラベルはどのようにしていますか。キャップ

## 【自宅】外したキャップやラベルはどのようにしているか:ラベル（MA）

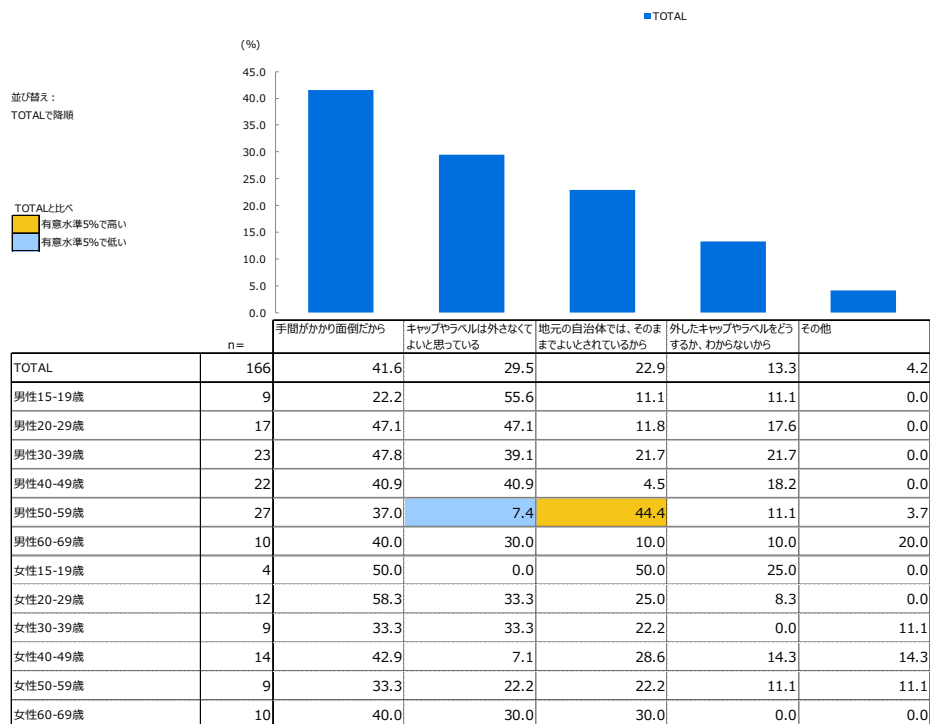
- TOTALでは、「自治体の容器包装プラスチックとして出す」が最も高く、46.6%。「可燃ごみとして出す」31.6%、「不燃ごみとして出す」14.5%が続く。
- 性年代別にみると、「可燃ごみとして出す」は、男性50-59歳（41.4%）、「不燃ごみとして出す」は、女性15-19歳（36.8%）が他と比べて高くなっている。



Q6 その外したキャップやラベルはどのようにしていますか。ラベル

## 【自宅】ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由（MA）

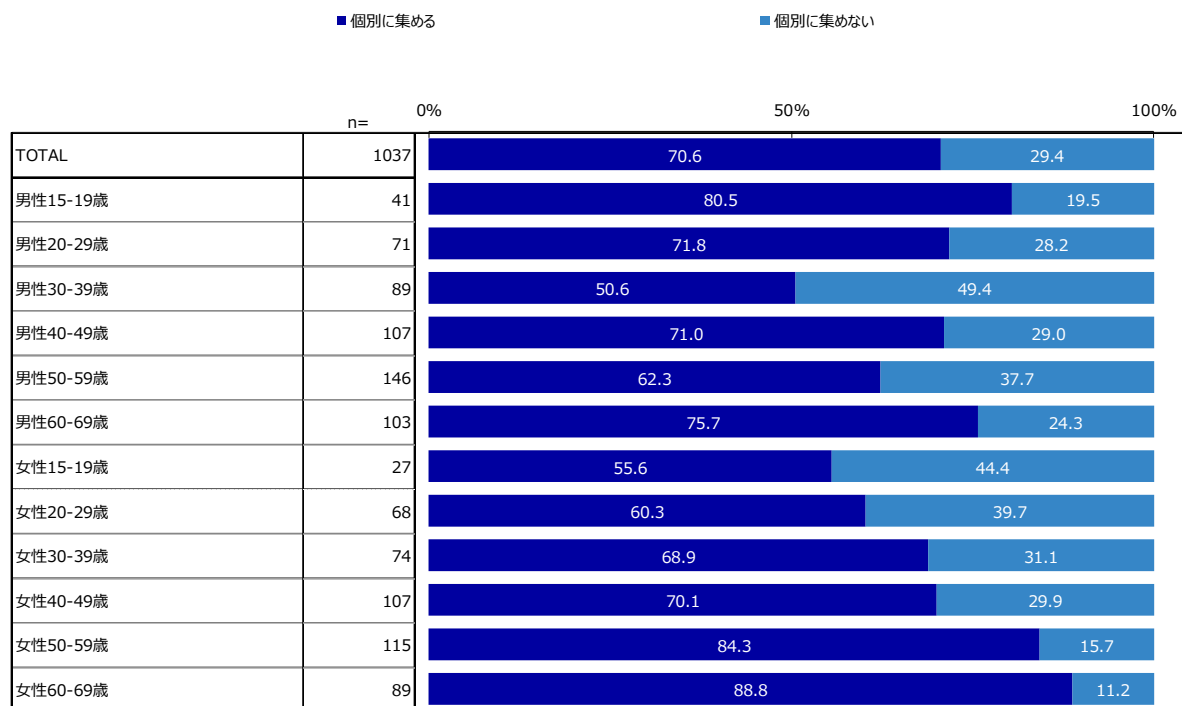
- TOTALでは、「手間がかかり面倒だから」が最も高く、41.6%。「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」29.5%、「地元の自治体では、そのままよいとされているから」22.9%が続く。
- 性年代別にみると、男性50-59歳は、他と比べて「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」（7.4%）が低く、「地元の自治体では、そのままよいとされているから」（44.4%）が高い傾向になっている。



Q7 ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由をお答えください。

## ペットボトルのキャップがリサイクルされるなら、個別に集めるか（SA）

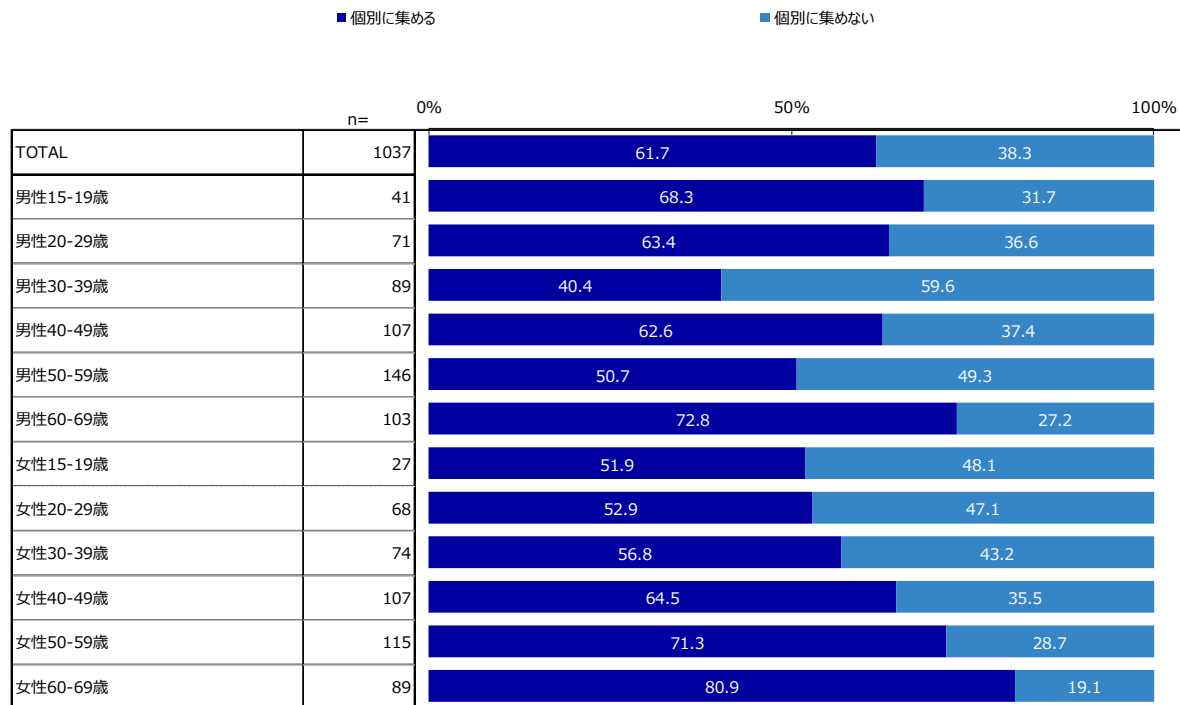
- TOTALでは、「個別に集める」が最も高く、70.6%。
- 性年代別にみると、女性は年代が高くなるにつれ、「個別に集める」の割合が高くなる傾向にある。一方で、男性は若年層（15-19歳／20-29歳）の方が「個別に集める」が高い傾向になっている。



Q8 ペットボトルのキャップやラベルのリサイクルについてお聞きます。ペットボトルのキャップがリサイクルされるなら、個別に集めますか。

## ペットボトルのラベルがリサイクルされるなら、個別に集めるか（SA）

- TOTALでは、「個別に集める」が最も高く、61.7%。
- 性年代別にみると、女性は、年代が高くなるにつれ、「個別に集める」の割合が高い傾向にある。一方で、男性は、「個別に集める」は、男性60-69歳（72.8%）が最も高く、続いて、男性15-19歳（68.3%）となっている。

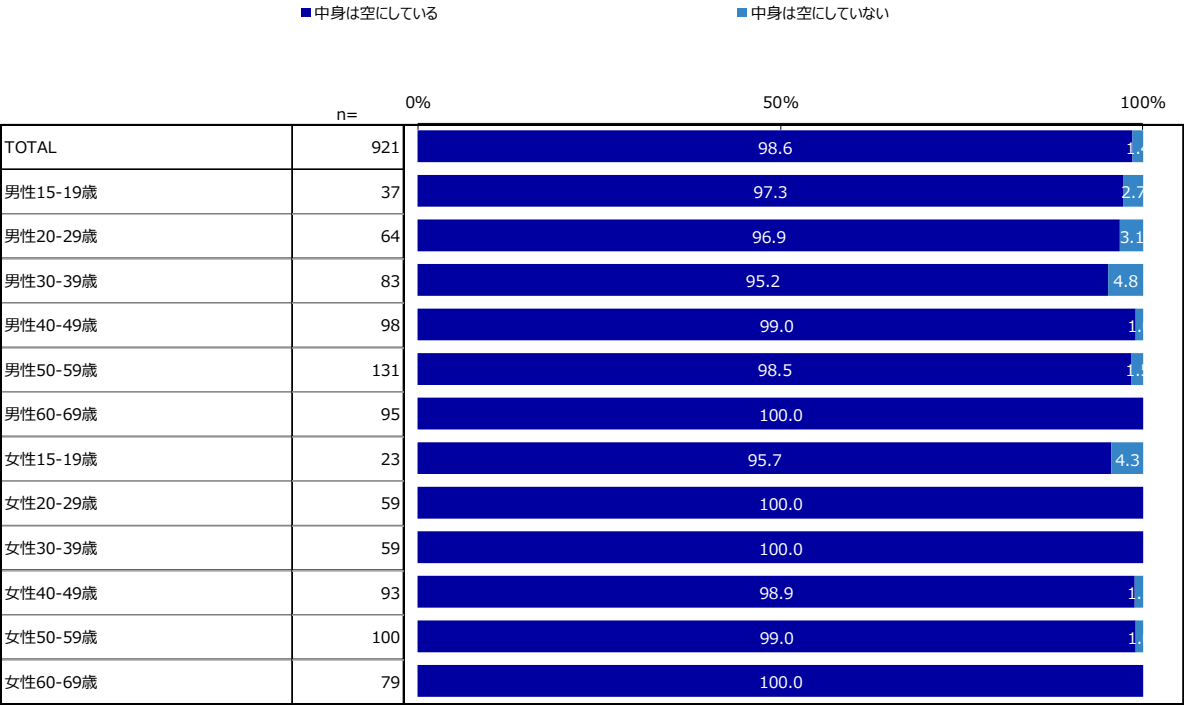


Q8 ペットボトルのキャップやラベルのリサイクルについてお聞きます。ペットボトルのラベルがリサイクルされるなら、個別に集めますか。



# 自宅でペットボトルを排出する際に中身は空にしているか（SA）

- TOTALでは、「中身は空にしている」が最も高く、98.6%。
- 性年代別で大きな差はみられず、男性・女性ともに全年代で95%以上の人が「中身は空にしている」と回答している。

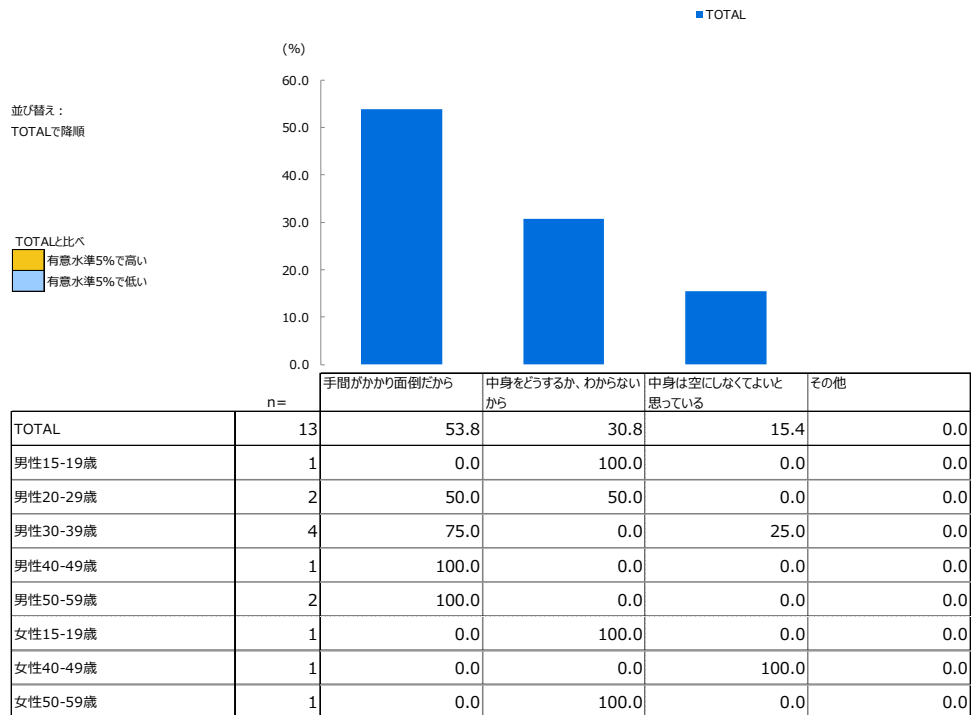


非表示：1%未満

Q9 自宅でペットボトルを排出する際に中身は空にしていますか。

## 【自宅】ペットボトルの中身を空にしない理由（MA）

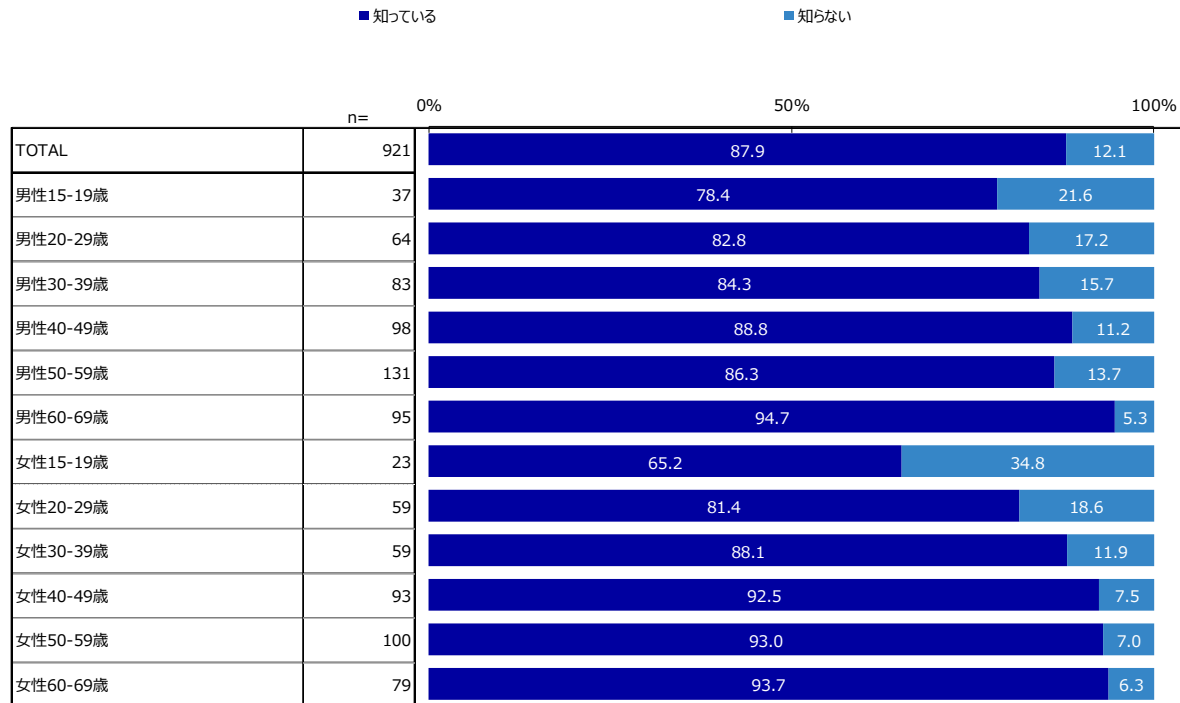
- TOTALでは、「手間がかかり面倒だから」が最も高く、53.8%。「中身をどうするか、わからないから」30.8%、「中身は空にしないでよいと思っている」15.4%が続く。
- 性年代別で大きな差はみられなかった。



Q10 中身を空にしない理由をお答えください。

## 自宅でのペットボトル排出方法について、自治体のルールの認知度（SA）

- TOTALでは、「知っている」が最も高く、87.9%。
- 性年代別にみると、「知っている」は、男性・女性ともに若年層（15-19歳／20-29歳）が他の年代と比べて低い傾向になっている。

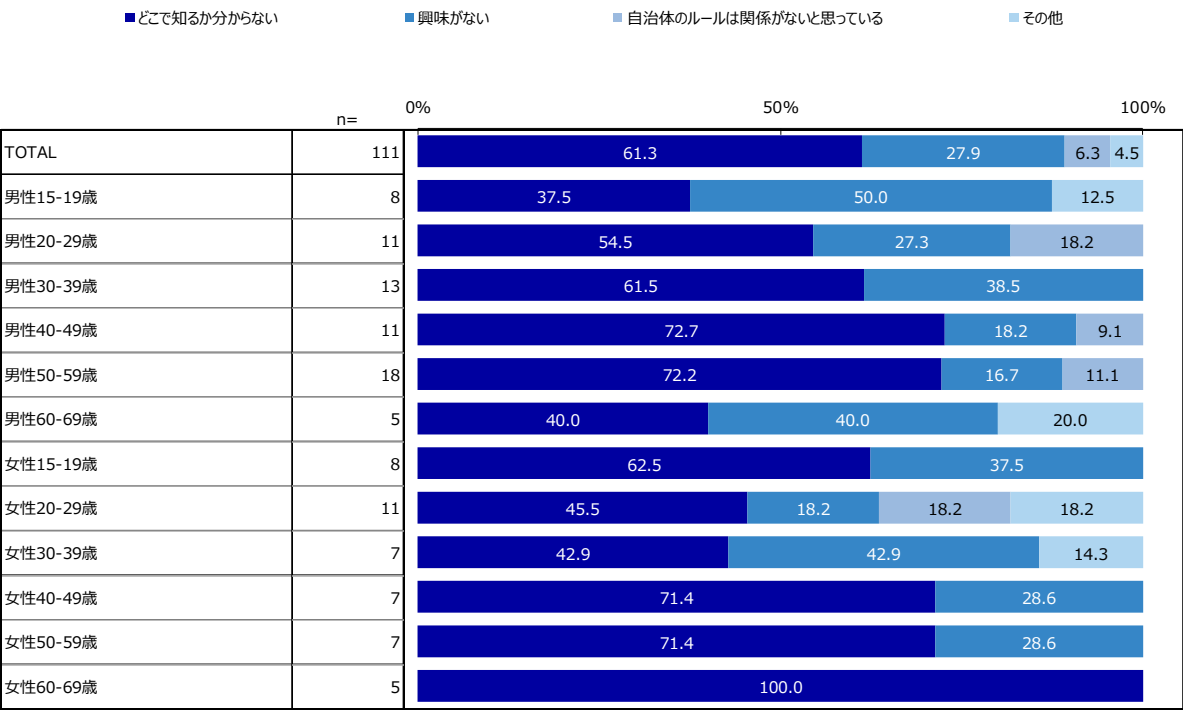


Q11 自宅で飲んだあとのペットボトルの出し方について、お住まいの自治体のルールを知っていますか。



# 自宅でのペットボトル排出方法について、自治体のルールを知らない理由（SA）

- TOTALでは、「どこで知るかわからない」が最も高く、61.3%。「興味がない」27.9%、「自治体のルールは関係がないと思っている」6.3%が続く。
- 性年代別にみると、「どこで知るかわからない」は女性60-69歳（100.0%）、「興味がない」は男性15-19歳（50.0%）、「自治体のルールは関係がないと思っている」は男性20-29歳／女性20-29歳（ともに18.2%）が他と比べて高くなっている（参考値）。



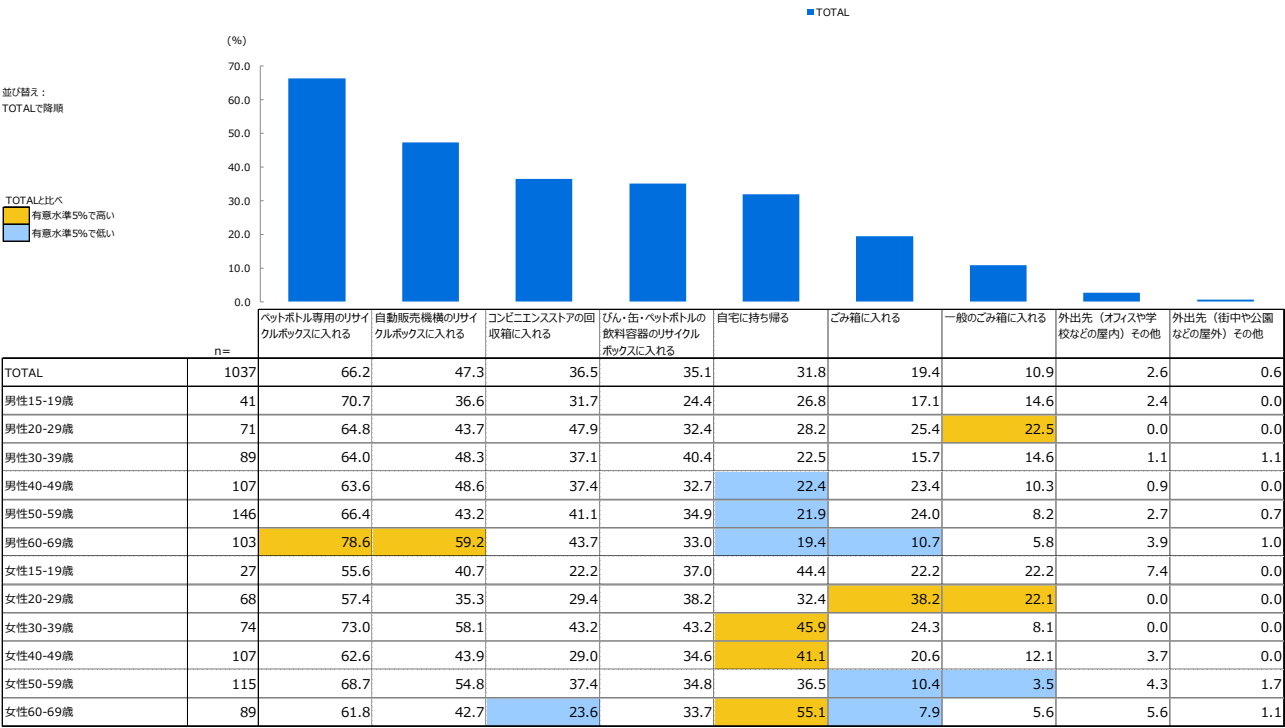
非表示：1%未満

Q12 （前問で知らないと答えた方にお聞きます。）知らない理由をお聞かせください。



# 外出先（屋内・屋外）で飲み終わったペットボトルは、どのようにしているか（MA）

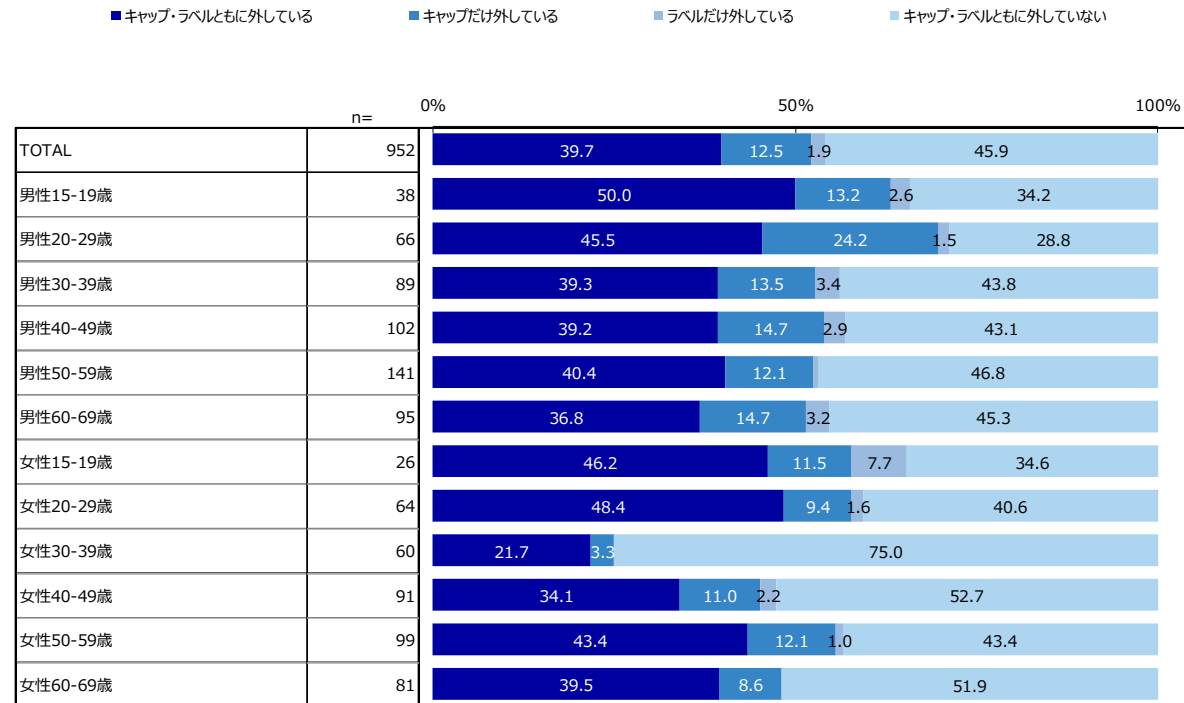
- TOTALでは、「ペットボトル専用のリサイクルボックスに入れる」が最も高く、66.2%。「自動販売機横のリサイクルボックスに入れる」47.3%、「コンビニエンスストアの回収箱に入れる」36.5%が続く。
- 性年代別にみると、「ペットボトル専用のリサイクルボックスに入れる」・「自動販売機横のリサイクルボックスに入れる」は男性60-69歳（ペットボトル専用のリサイクルボックスに入れる：78.6%、自動販売機横のリサイクルボックスに入れる：59.2%）、「自宅に持ち帰る」は女性60-69歳（55.1%）が他と比べて高くなっている。



Q13 あなたは普段、外出先（屋内・屋外）で飲み終わったペットボトルは、どのようにしていますか。

## 飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか:外出先（オフィスや学校などの屋内）（SA）

- TOTALでは、「キャップ・ラベルともに外していない」が最も高く、45.9%。「キャップ・ラベルともに外している」39.7%、「キャップだけ外している」12.5%が続く。
- 性年代別にみると、「キャップ・ラベルともに外している」は、男性・女性ともに若年層（15-19歳／20-29歳）が他と比べて高い。一方で、「キャップ・ラベルともに外していない」は、女性30-39歳（75.0%）が他と比べて高くなっている。

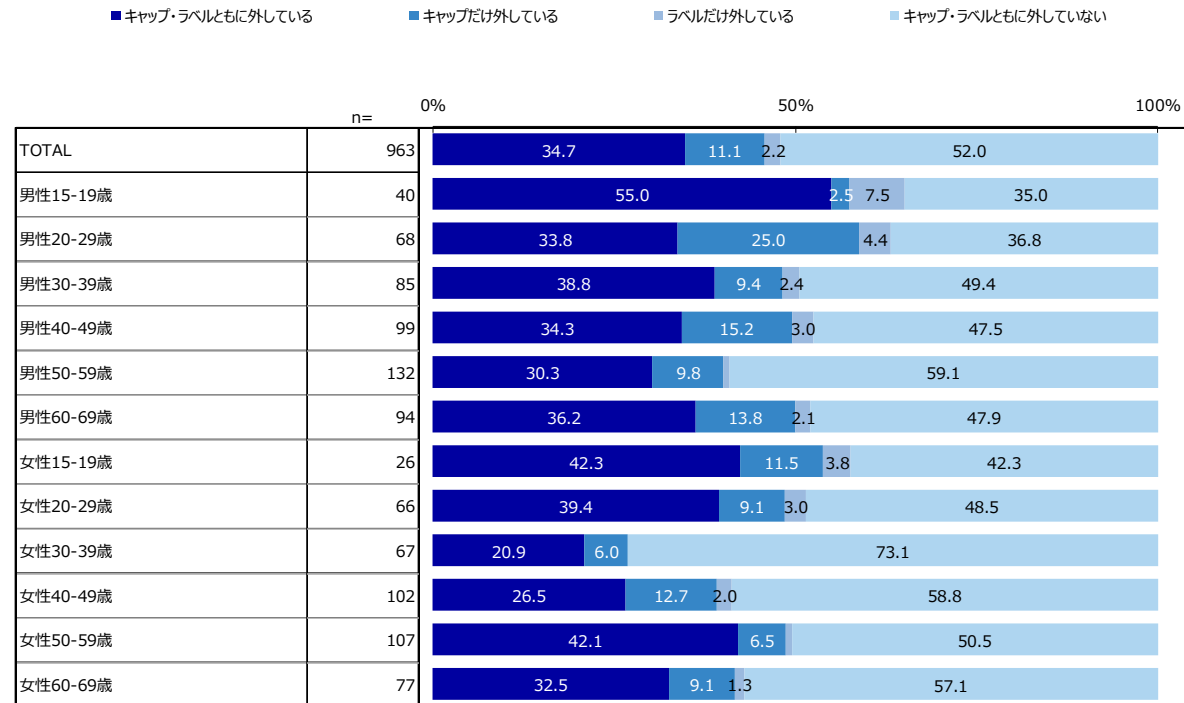


非表示：1%未満

Q14 外出先（屋内・屋外）で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外していますか。外出先（オフィスや学校などの屋内）

## 飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外しているか:外出先（街中や公園などの屋外）（SA）

- TOTALでは、「キャップ・ラベルともに外していない」が最も高く、52.0%。「キャップ・ラベルともに外している」34.7%、「キャップだけ外している」11.1%が続く。
- 性年代別にみると、「キャップ・ラベルともに外していない」は、女性30-39歳（73.1%）が他と比べて高い。また、「キャップ・ラベルともに外している」は、男性・女性ともに15-19歳（男性：55.0%、女性：42.3%）で他と比べて高くなっている。

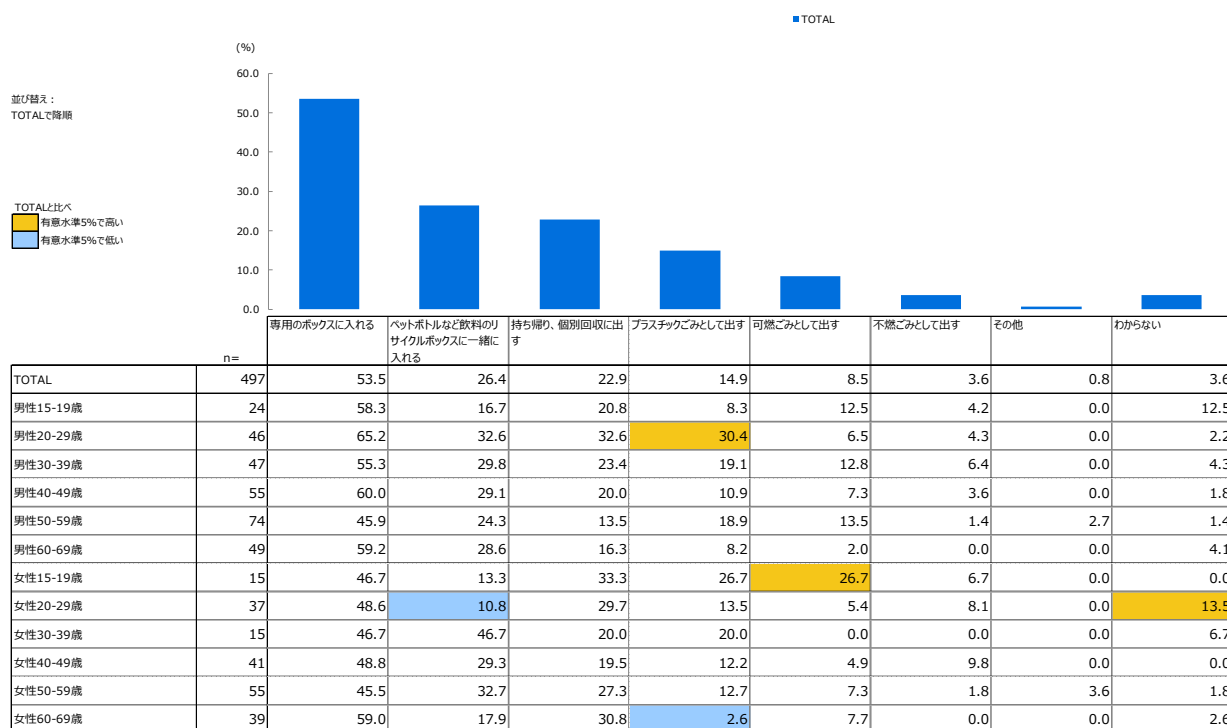


非表示：1%未満

Q14 外出先（屋内・屋外）で飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外していますか。外出先（街中や公園などの屋外）

## 【外出先】 外したキャップはどのようにしているか:外出先（オフィスや学校などの屋内） (MA)

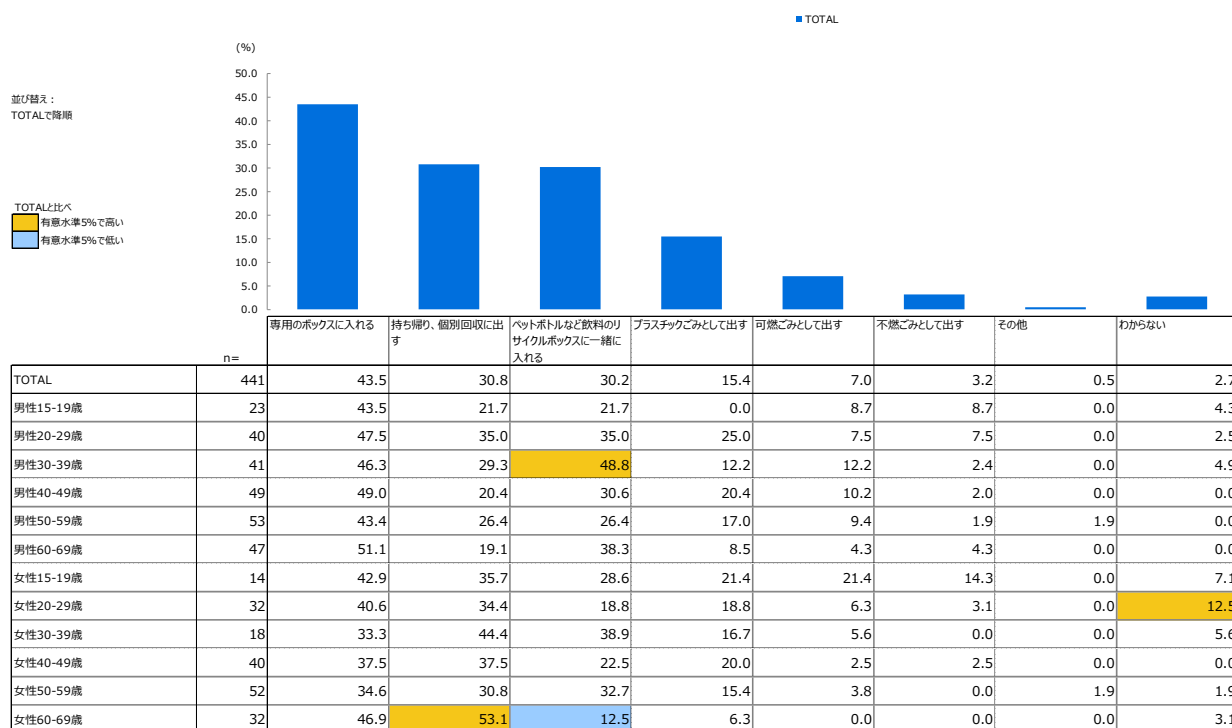
- TOTALでは、「専用のボックスに入れる」が最も高く、53.5%。「ペットボトルなど飲料のリサイクルボックスと一緒に入れる」26.4%、「持ち帰り、個別回収に出す」22.9%が続く。
- 性年代別にみると、「プラスチックごみとして出す」は、男性20-29歳（30.4%）が他と比べて高く、女性60-69歳（2.6%）が低い。また、「可燃ごみとして出す」は、女性15-19歳（26.7%）が、他と比べて高くなっている。



Q15 外出先（屋内・屋外）で外したキャップはどのようにしていますか？外出先（オフィスや学校などの屋内）

## 【外出先】 外したキャップはどのようにしているか:外出先（街中や公園などの屋外）（MA）

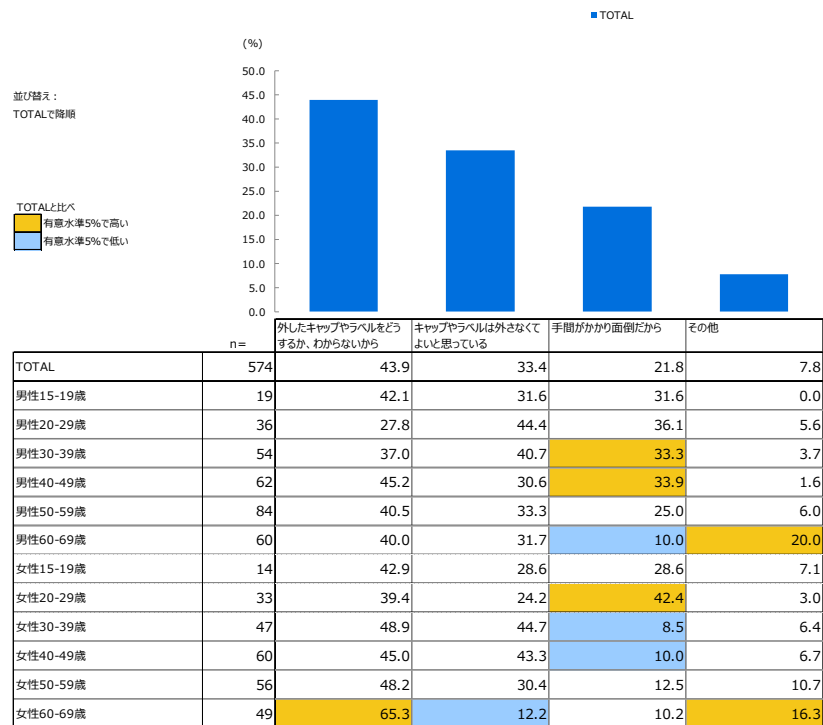
- TOTALでは、「専用のボックスに入れる」が最も高く、43.5%。「持ち帰り、個別回収に出す」30.8%、「ペットボトルなど飲料のリサイクルボックスと一緒に入れる」30.2%が続く。
- 性年代別にみると、「持ち帰り、個別回収に出す」は、女性60-69歳（53.1%）が他と比べて高い。また、「ペットボトルなど飲料のリサイクルボックスと一緒に入れる」は、男性30-39歳（48.8%）が他と比べて高く、女性60-69歳（12.5%）が低くなっている。



Q15 外出先（屋内・屋外）で外したキャップはどのようにしていますか？外出先（街中や公園などの屋外）

## 【外出先】ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由:外出先（オフィスや学校などの屋内）（MA）

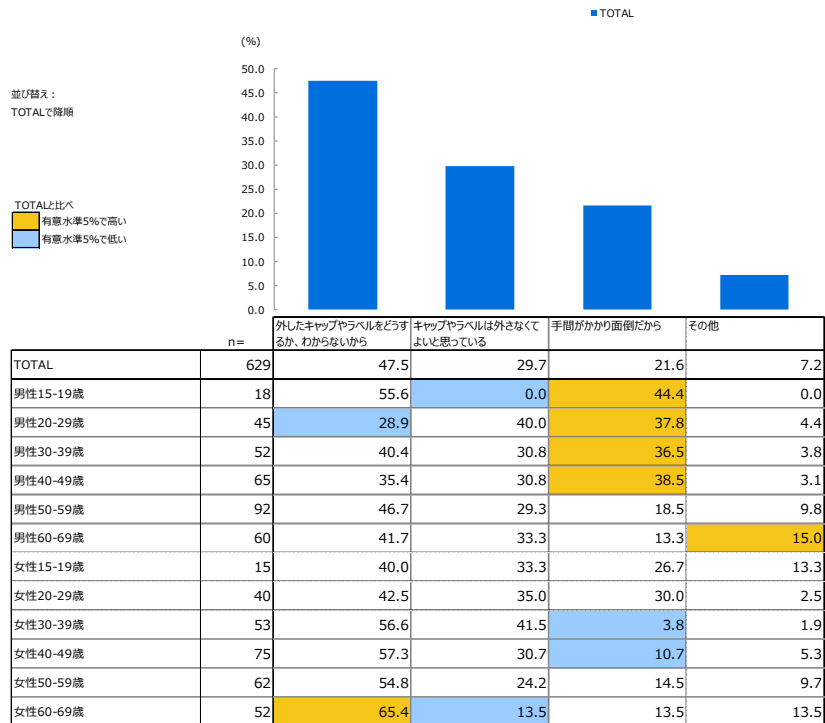
- TOTALでは、「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」が最も高く、43.9%。「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」33.4%、「手間がかかり面倒だから」21.8%が続く。
- 性年代別にみると、「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」は、女性60-69歳（65.3%）、「手間がかかり面倒だから」は、女性20-29歳（42.4%）が他と比べて高くなっている。



Q16 ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由をお答えください。外出先（オフィスや学校などの屋内）

## 【外出先】 ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由:外出先（街中や公園などの屋外）（MA）

- TOTALでは、「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」が最も高く、47.5%。「キャップやラベルは外さなくてよいと思っている」29.7%、「手間がかかり面倒だから」21.6%が続く。
- 性年代別にみると、「外したキャップやラベルをどうするか、わからないから」は、女性60-69歳（65.4%）、「手間がかかり面倒だから」は、男性15-49歳（15-19歳／20-29歳／30-39歳／40-49歳）が他と比べて高くなっている。

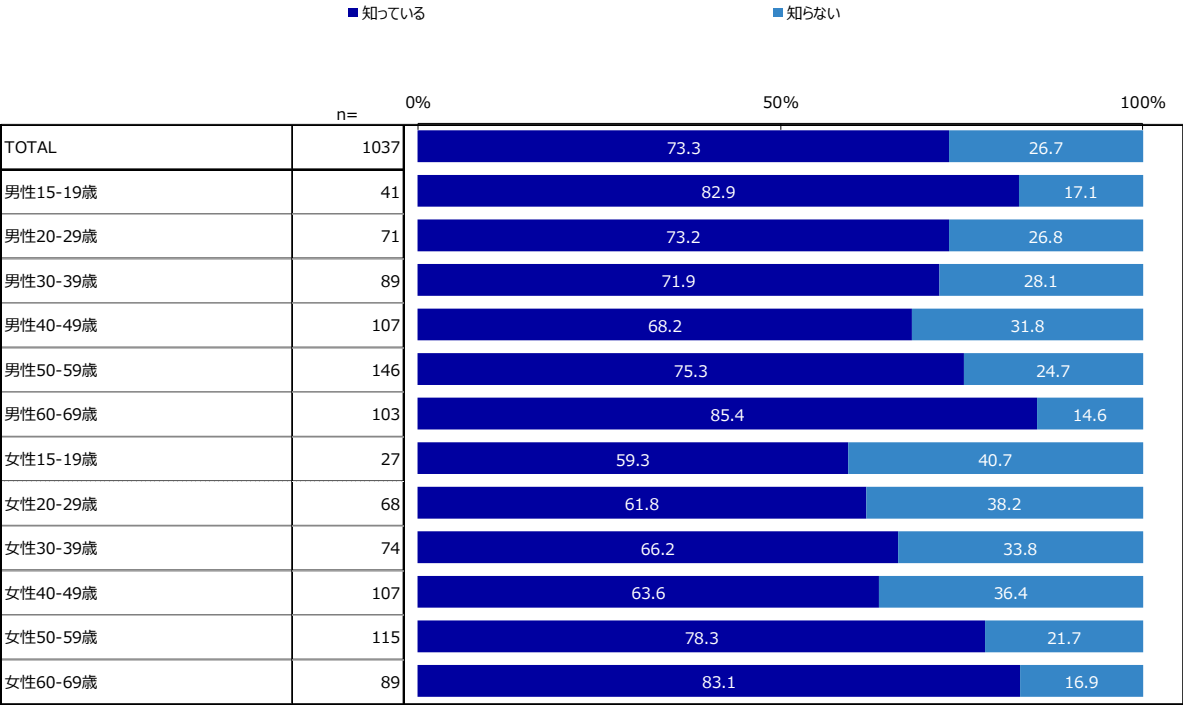


Q16 ペットボトルのキャップやラベルを外さない理由をお答えください。外出先（街中や公園などの屋外）



# 自動販売機横のボックスはリサイクルボックスであることの認知度（SA）

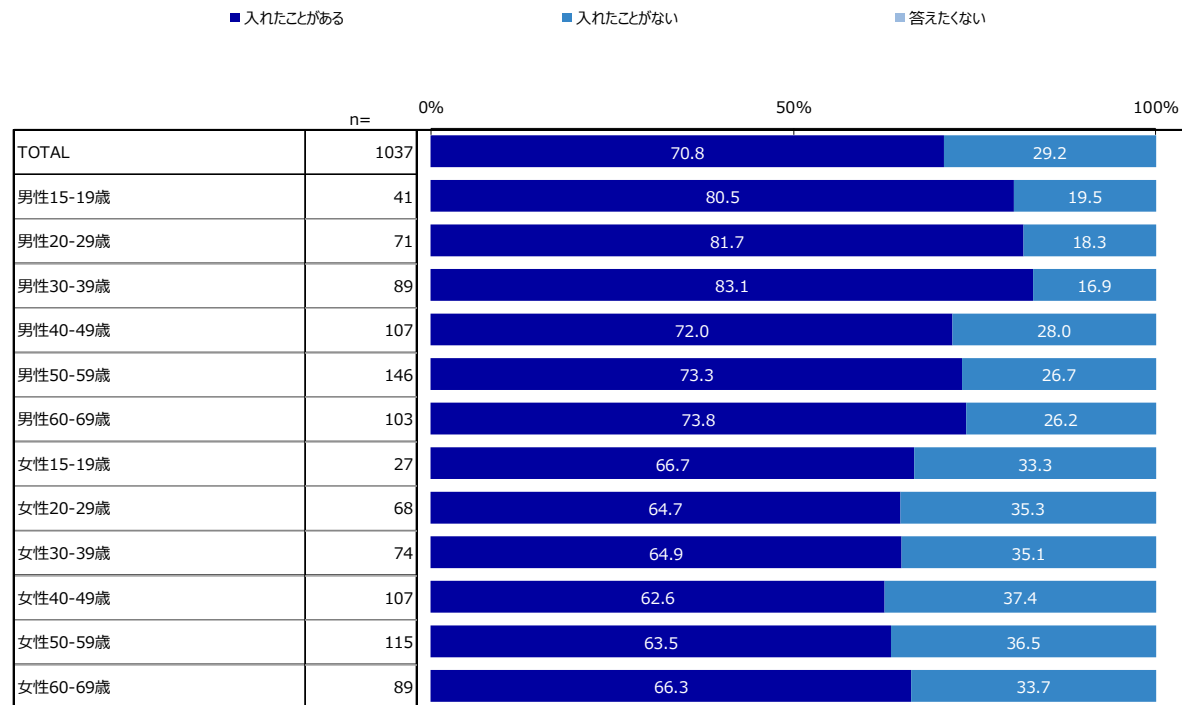
- TOTALでは、「知っている」が最も高く、73.3%。
- 性年代別にみると、「知っている」は、男性60-69歳（85.4%）、「知らない」は、女性15-19歳（40.7%）が他と比べて高くなっている。



Q17 自動販売機横のボックスはゴミ箱ではなく、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器を回収するためのリサイクルボックスであることを知っていますか。

## 自動販売機横のリサイクルボックス直近1年間投入経験:清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器 (SA)

- TOTALでは、「入れたことがある」が最も高く、70.8%。
- 性年代別にみると、「入れたことがある」は、男性（平均77.4%）の方が女性（平均64.8%）よりも高い傾向になっている。

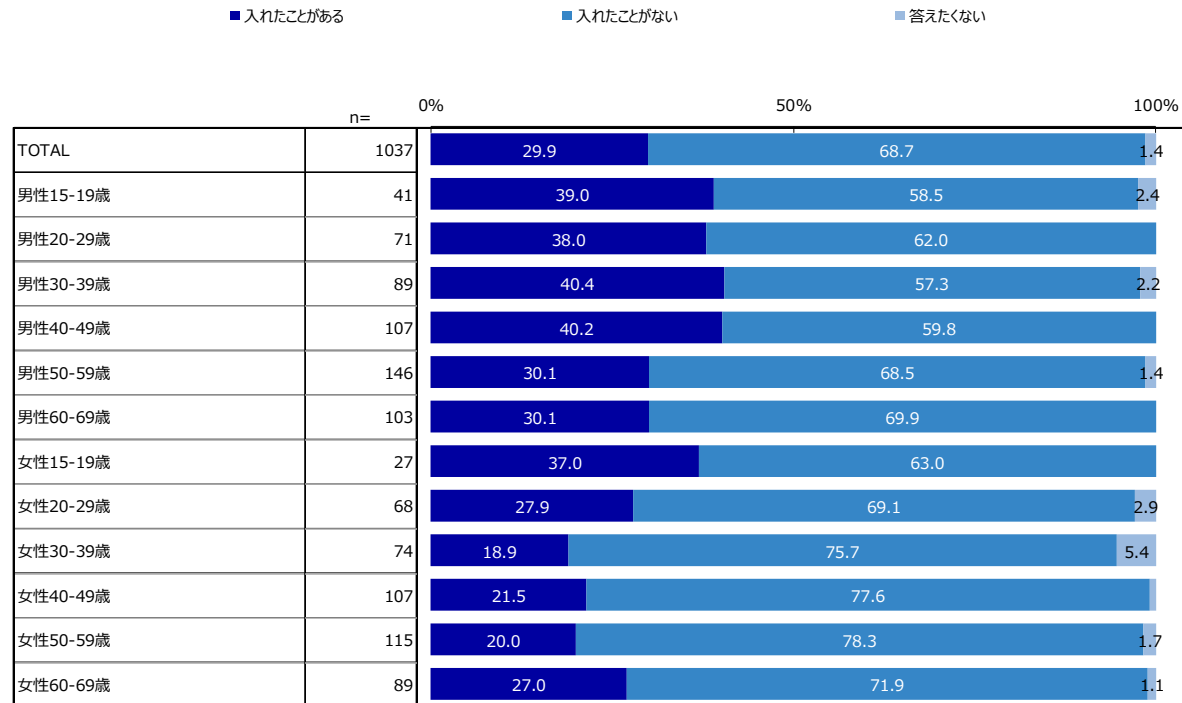


非表示：1%未満

Q18 あなたは過去1年間で、自動販売機横のリサイクルボックスに、以下のものを入れたことがありますか。清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器

## 自動販売機横のリサイクルボックス直近1年間投入経験:清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外のもの (SA)

- TOTALでは、「入れたことがない」が最も高く、68.7%。「入れたことがある」29.9%、「答えたくない」1.4%が続く。
- 性年代別にみると、「入れたことがない」は、女性50-59歳（78.3%）が他と比べて高い。また、「入れたことがある」は、男性（平均36.3%）の方が女性（平均25.4%）よりも高い傾向にあり、その中でも男性30-39歳（40.4%）、男性40-49歳（40.2%）が他と比べて高くなっている。



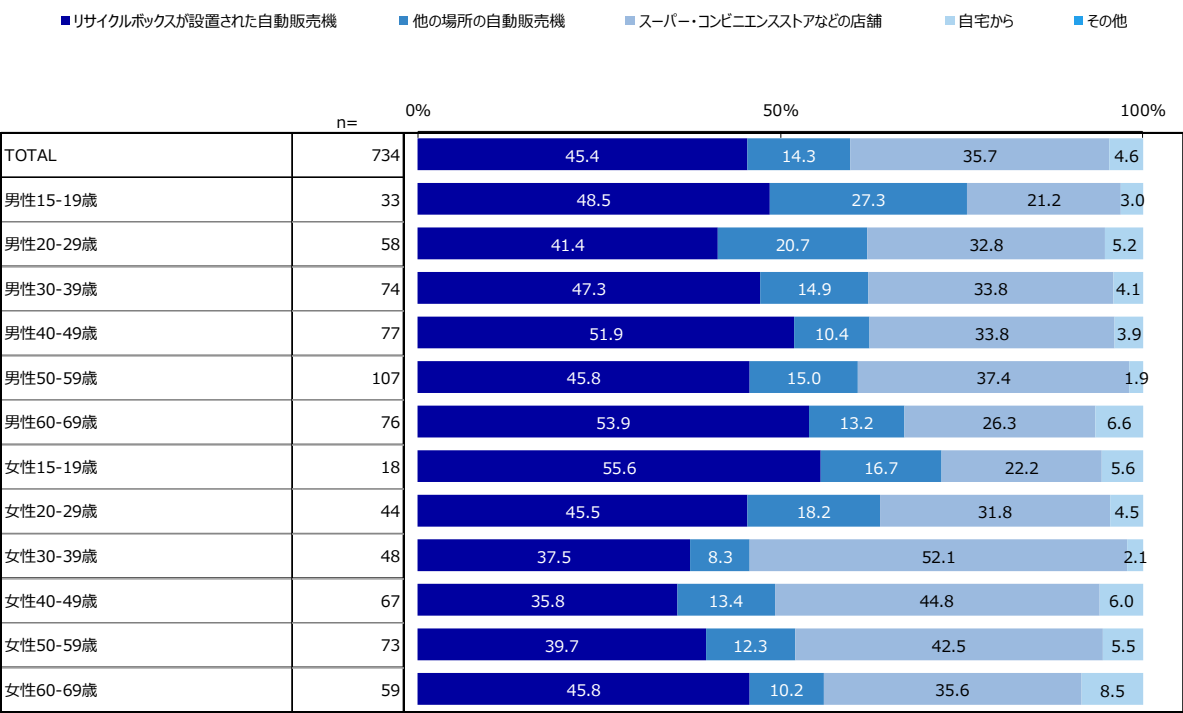
非表示：1%未満

Q18 あなたは過去1年間で、自動販売機横のリサイクルボックスに、以下のものを入れたことがありますか。清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外のもの



# 自動販売機横のリサイクルボックスに投入した清涼飲料容器購入場所（SA）

- TOTALでは、「リサイクルボックスが設置された自動販売機」が最も高く、45.4%。「スーパー・コンビニエンスストアなどの店舗」35.7%、「他の場所の自動販売機」14.3%が続く。
- 性年代別にみると、「リサイクルボックスが設置された自動販売機」は、女性15-19歳（55.6%）、「スーパー・コンビニエンスストアなどの店舗」は、女性30-39歳（52.1%）、「他の場所の自動販売機」は、男性15-19歳（27.3%）が他と比べて高くなっている。

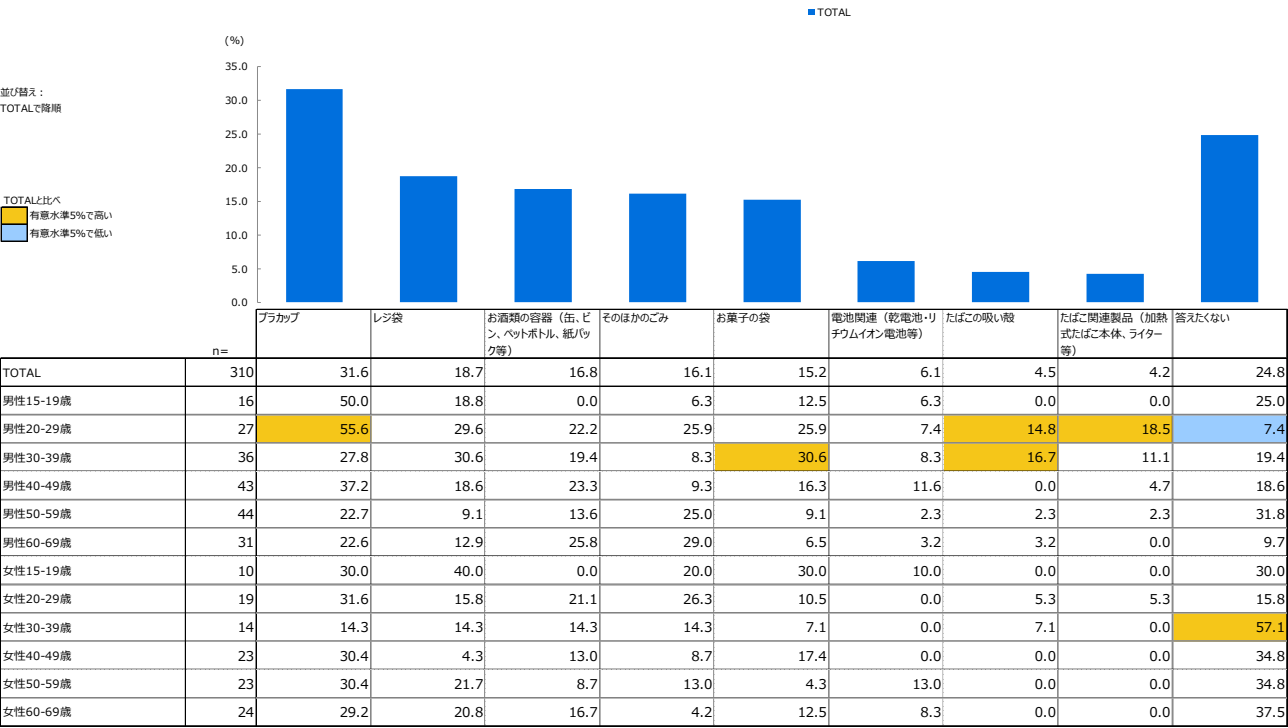


非表示：1%未満

Q19 自動販売機横のリサイクルボックスに入れた清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器はどこで購入されたものが多いですか。

# 自動販売機横のリサイクルボックスに直近1年間で投入した清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外の物（MA）

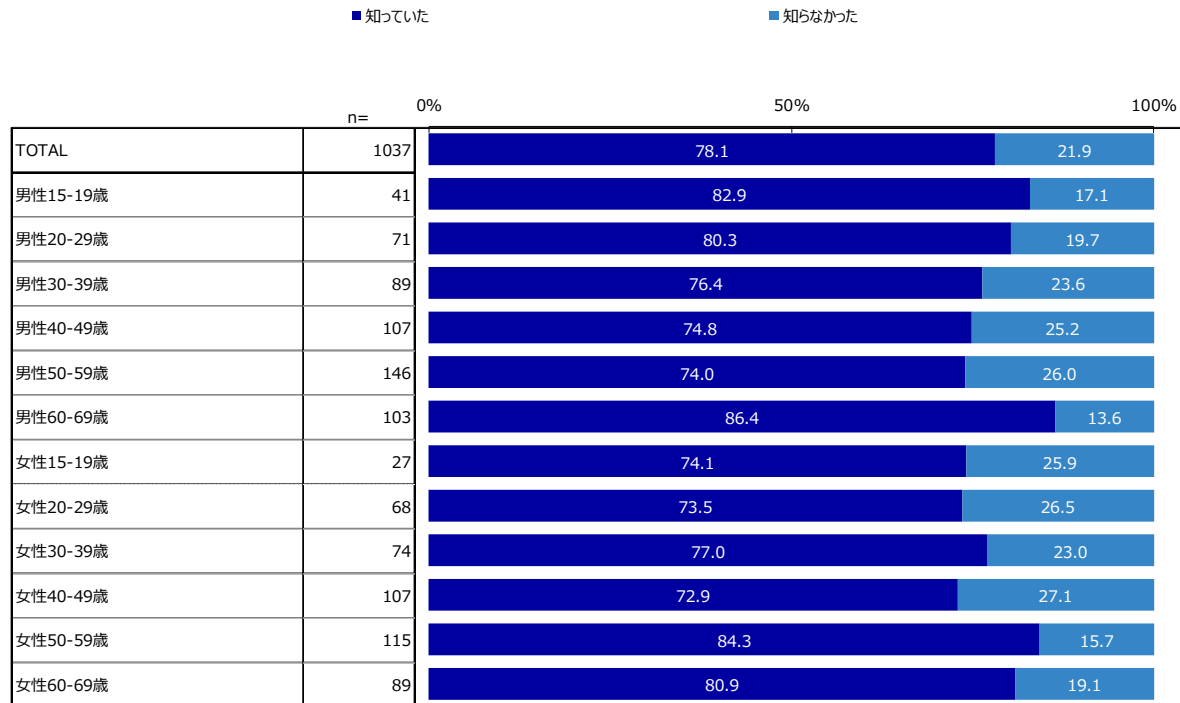
- TOTALでは、「プラカップ」が最も高く、31.6%。「レジ袋」18.7%、「お酒類の容器（缶、ビン、ペットボトル、紙パック等）」16.8%が続く。
- 性年代別にみると、「プラカップ」・「たばこの吸い殻」・「たばこ関連製品（加熱式たばこ本体、ライター等）」は、男性20-29歳（プラカップ：55.6%、たばこの吸い殻：14.8%、たばこ関連製品：18.5%）が、他と比べて高くなっている（参考値）。



Q20 あなたが過去1年間で、自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外で入れたことがあるものは何ですか。

## 自動販売機横のリサイクルボックスに清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外入れてはいけないことを知っているか（SA）

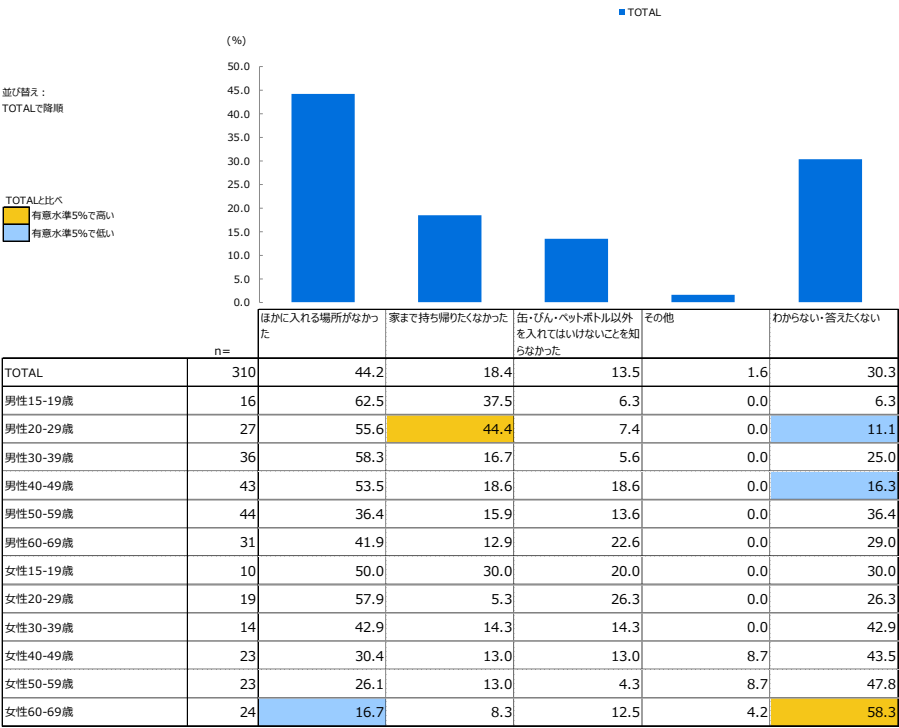
- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、78.1%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性・女性ともに全年代で70%を超えていたが、その中でも、男性60-69歳（86.4%）が他と比べて高くなっている。



Q21 あなたは、自動販売機横のリサイクルボックスに清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を入れてはいけないと知っていましたか。

# 自動販売機横のリサイクルボックスに清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外を投入した理由（MA）

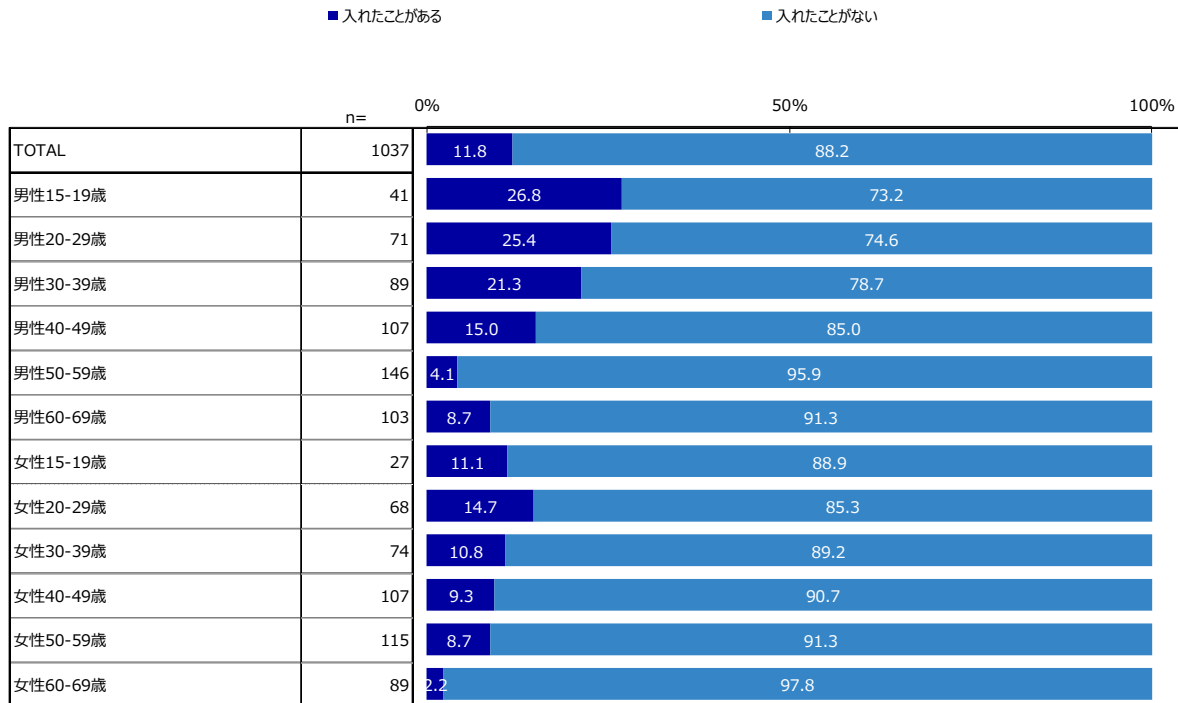
- TOTALでは、「ほかに入れる場所がなかった」が最も高く、44.2%。「家まで持ち帰りたくなかった」18.4%、「缶・びん・ペットボトル以外を入れてはいけないことを知らなかった」13.5%が続く。
- 性年代別にみると、「家まで持ち帰りたくなかった」は、男性20-29歳（44.4%）が他と比べて高くなっている（参考値）。



Q22 自動販売機横のリサイクルボックスに、清涼飲料水の缶・びん・ペットボトル容器以外のものを投入した理由をお答えください。

## リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れたことがあるか（SA）

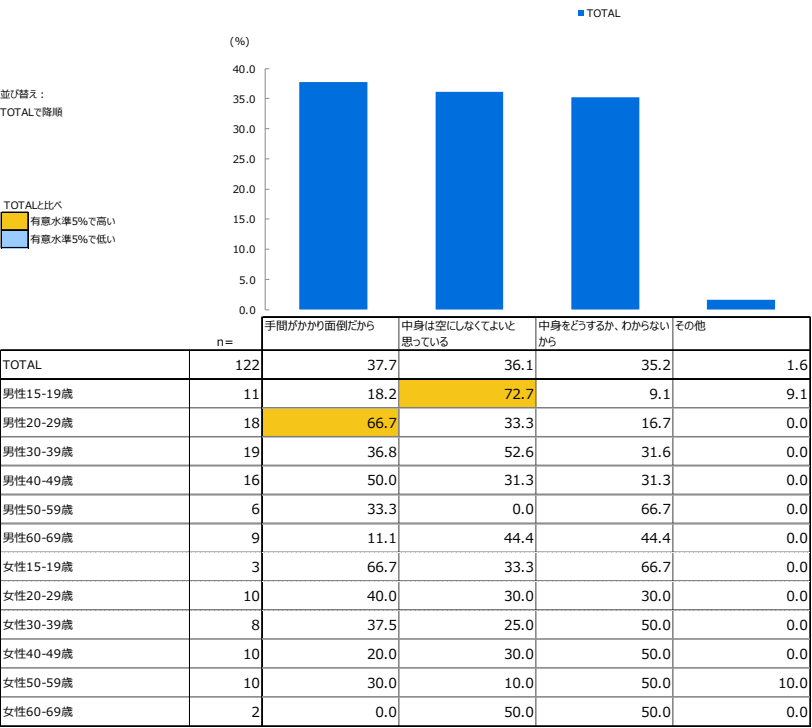
- TOTALでは、「入れたことがない」が最も高く、88.2%。
- 性年代別にみると、「入れたことがない」は、女性60-69歳（97.8%）、男性50-59歳（95.9%）が他と比べて高い。一方で、「入れたことがある」は、男性・女性ともに若年層（15-19歳／20-29歳）が他と比べて高くなっている。



Q23 リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れたことがありますか。

# リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れた理由（MA）

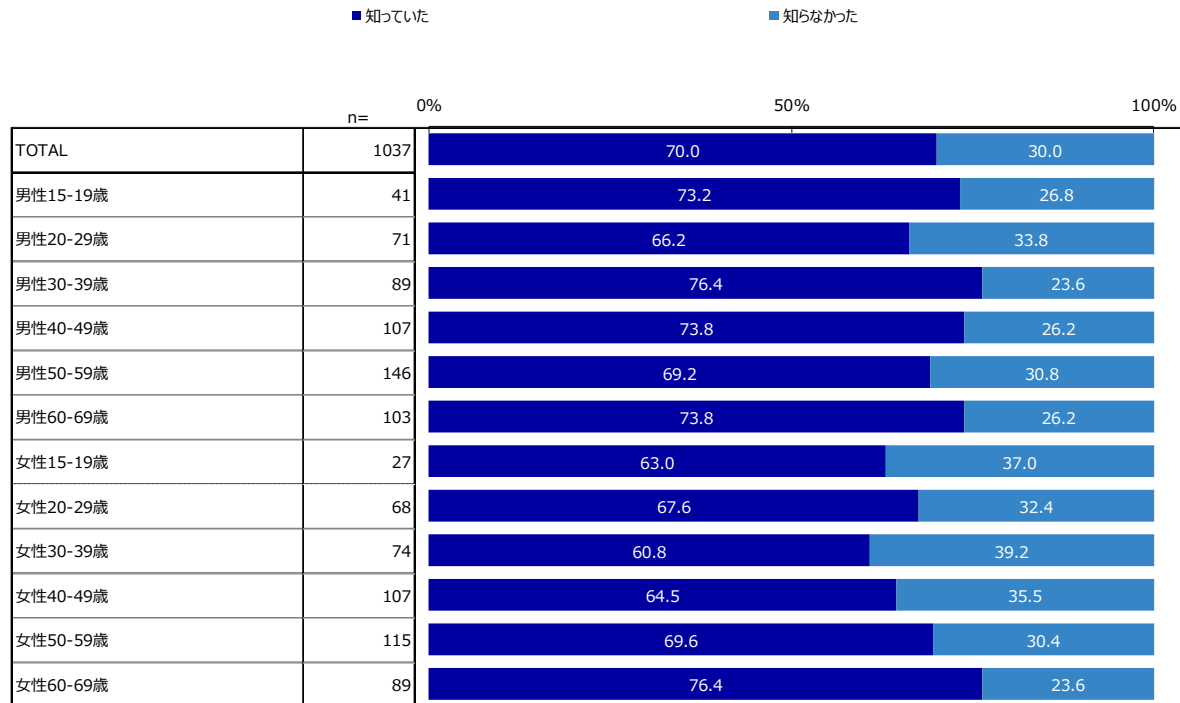
- TOTALでは、「手間がかかり面倒だから」が最も高く、37.7%。「中身は空にしなくてよいと思っている」36.1%、「中身はどうするか、わからないから」35.2%が続く。
- 性年代別にみると、「手間がかかり面倒だから」は、男性20-29歳（66.7%）、「中身は空にしなくてよいと思っている」は、男性15-19歳（72.7%）が他と比べて高くなっている（参考値）。



Q24 リサイクルボックスに飲料容器を入れる際、中身を残したまま（飲み残し）入れた理由をお答えください。

## 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」であることの認知度 (SA)

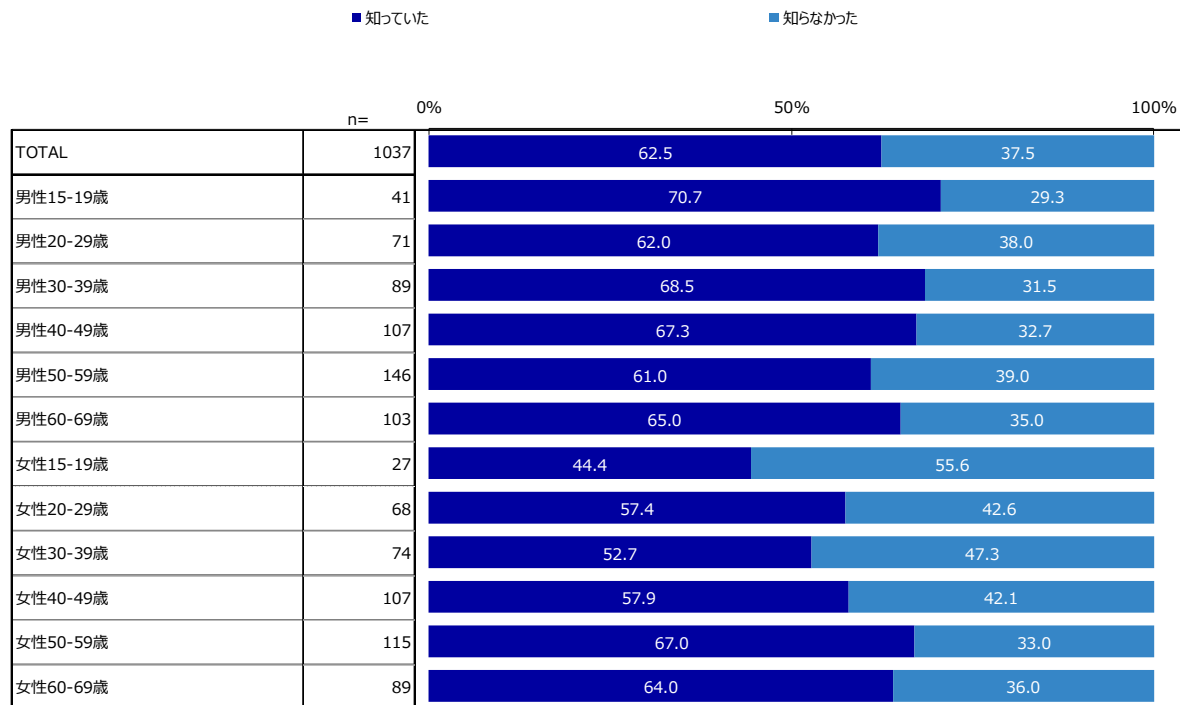
- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、70.0%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、女性60-69歳（76.4%）が他と比べて高くなっている。



Q25 あなたは、以下のことを知っていましたか。飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルにとって「異物」（※）になってしまうこと。※「異物」とは、清涼飲料水容器以外のことです。

## 飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすることの認知度（SA）

- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、62.5%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性15-19歳（70.7%）が他と比べて高くなっている。



Q25 あなたは、以下のことを知っていましたか。飲み残しが入っているペットボトルは、リサイクルに回らないことやリサイクル施設を傷めたりすること

## 公共のごみ箱やリサイクルボックスは必要だと思うか（SA）

- TOTALでは、「必要だと思う」が最も高く、88.6%。
- 性年代別による大きな差はみられなかったが、「必要だと思う」は、男性・女性ともに全年代で80%を超えている。

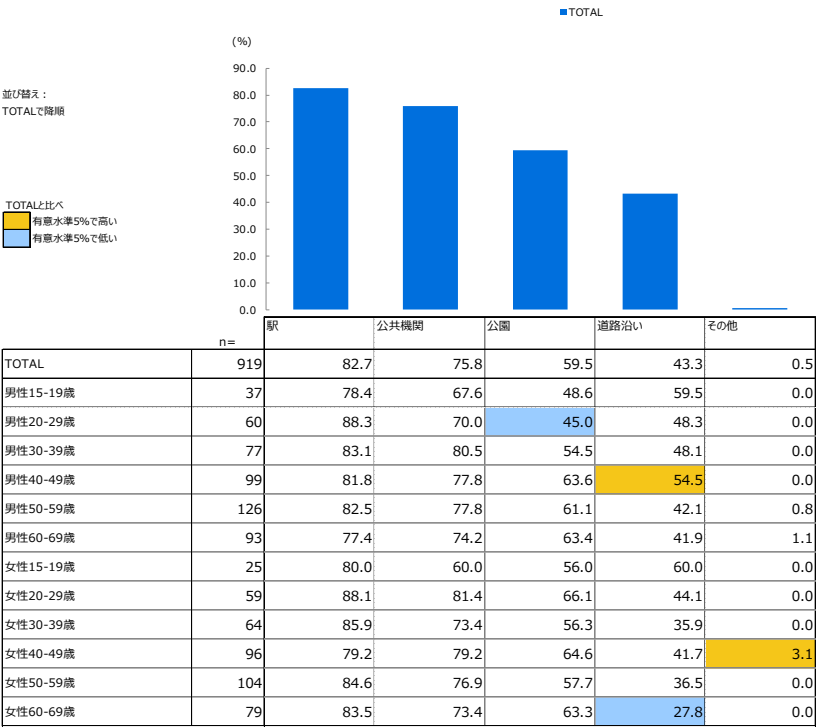


Q26 自動販売機横のリサイクルボックス以外に、公共のごみ箱やリサイクルボックスは必要だと思いますか。



# 公共のごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所（MA）

- TOTALでは、「駅」が最も高く、82.7%。「公共機関」75.8%、「公園」59.5%が続く。
- 性年代別にみると、「駅」は、男性・女性ともに全年代で75%を超えている。また、「道路沿い」は、男性40-49歳（54.5%）が他と比べて高くなっている。

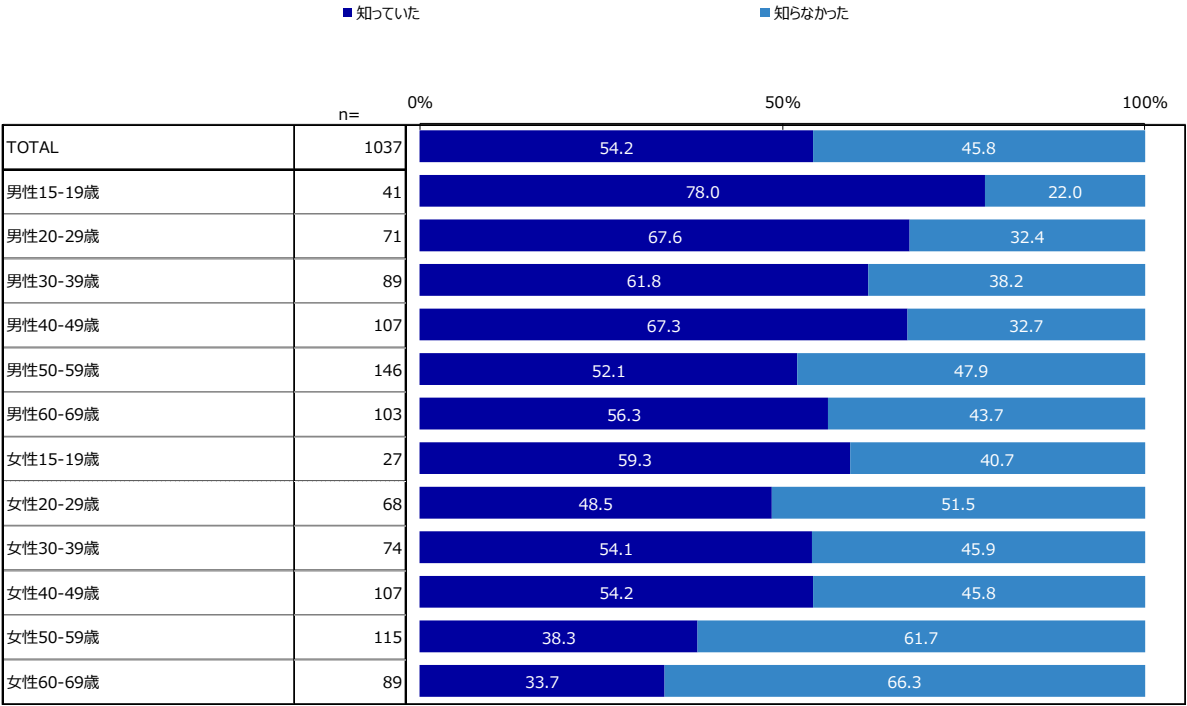


Q27 公共のごみ箱やリサイクルボックスがあった方がよいと思う場所はどこですか。



# 新機能の自動販売機横のリサイクルボックスの認知度（SA）

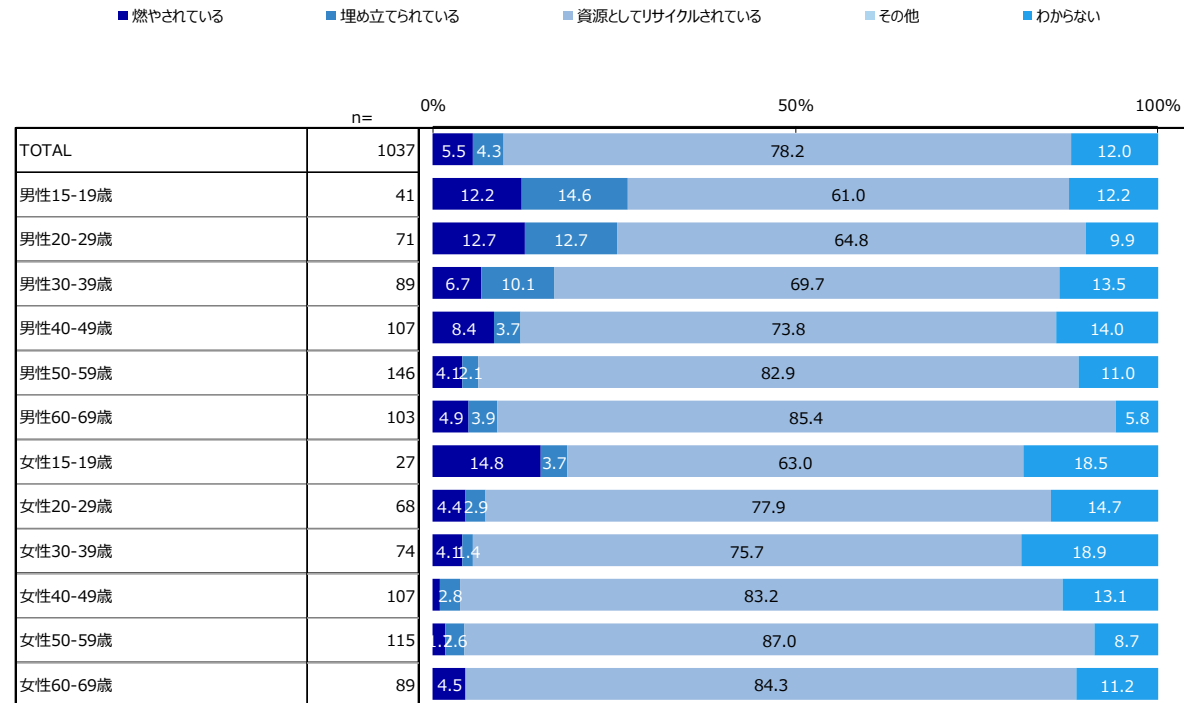
- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、54.2%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性15-19歳（78.0%）が他と比べて高い。一方で、「知らなかった」は、女性60-69歳（66.3%）、女性50-59歳（61.7%）が他と比べて高くなっている。



Q28 あなたは、画像のような、新機能（※）の自動販売機横リサイクルボックスを知っていましたか。

## 飲み終わった後のペットボトルは、回収された後どのように処理されていると思うか（SA）

- TOTALでは、「資源としてリサイクルされている」が最も高く、78.2%。「わからない」12.0%、「燃やされている」5.5%が続く。
- 性年代別にみると、「資源としてリサイクルされている」は、女性50-59歳（87.0%）が他と比べて高い。また、「燃やされている」・「埋め立てられている」は、ともに男性15-19歳／男性20-29歳が他と比べて高い傾向になっている。

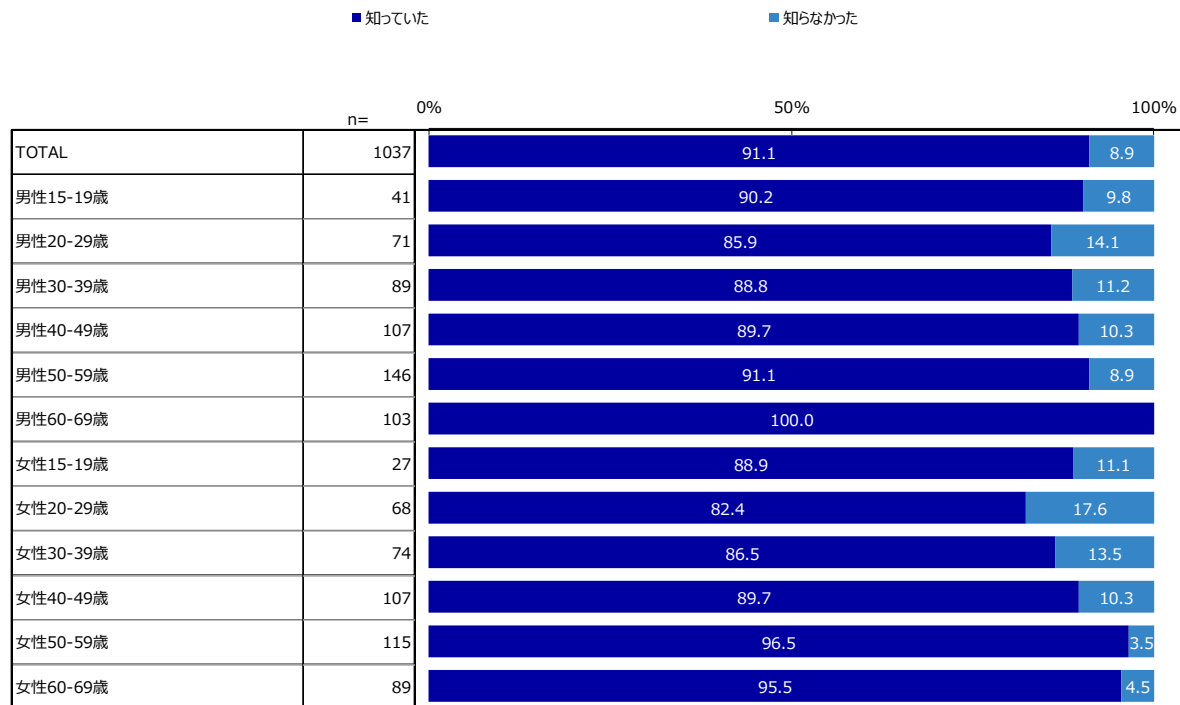


非表示：1%未満

Q29 飲み終わった後のペットボトルは、回収された後どのように処理されていると思いますか。

## ペットボトルが資源として、リサイクルされていることの認知度（SA）

- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、91.1%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性・女性ともに全年代で80%を超えているが、その中でも、男性60-69歳（100.0%）が他と比べて高くなっている。

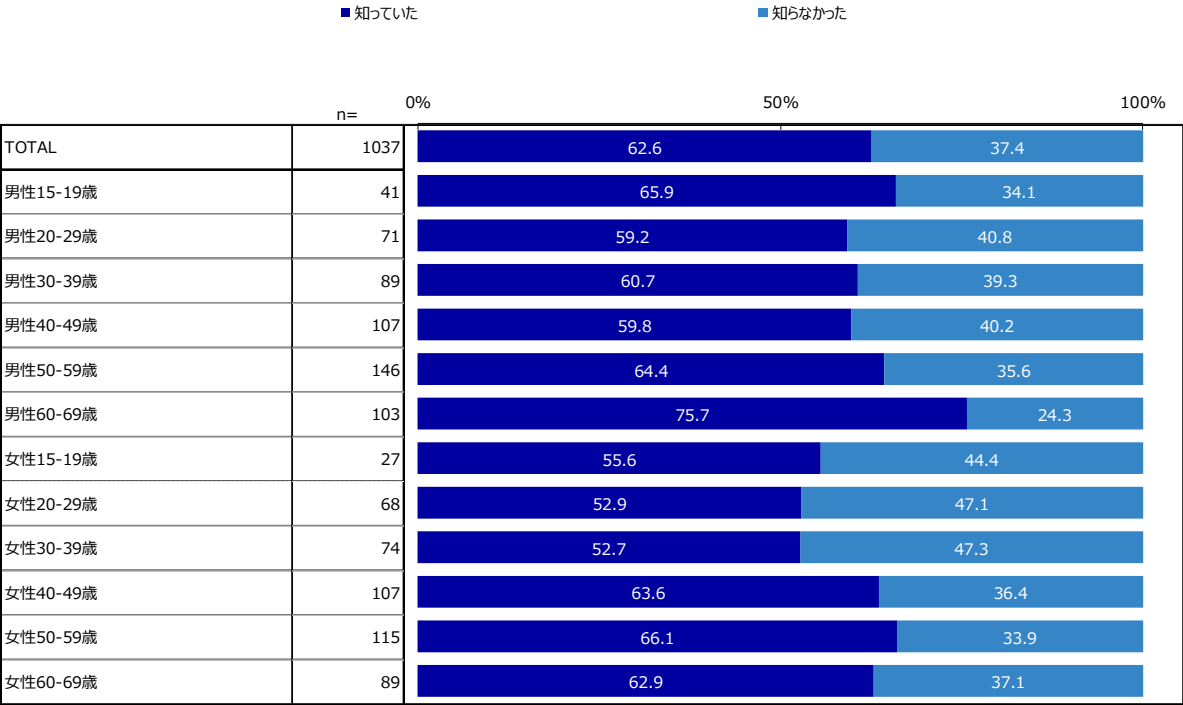


非表示：1%未満

Q30 ペットボトルのリサイクルについてお聞きます。ペットボトルが資源として、リサイクルされていることは知っていましたか。

# 日本のペットボトルがほとんどリサイクルされていることの認知度（SA）

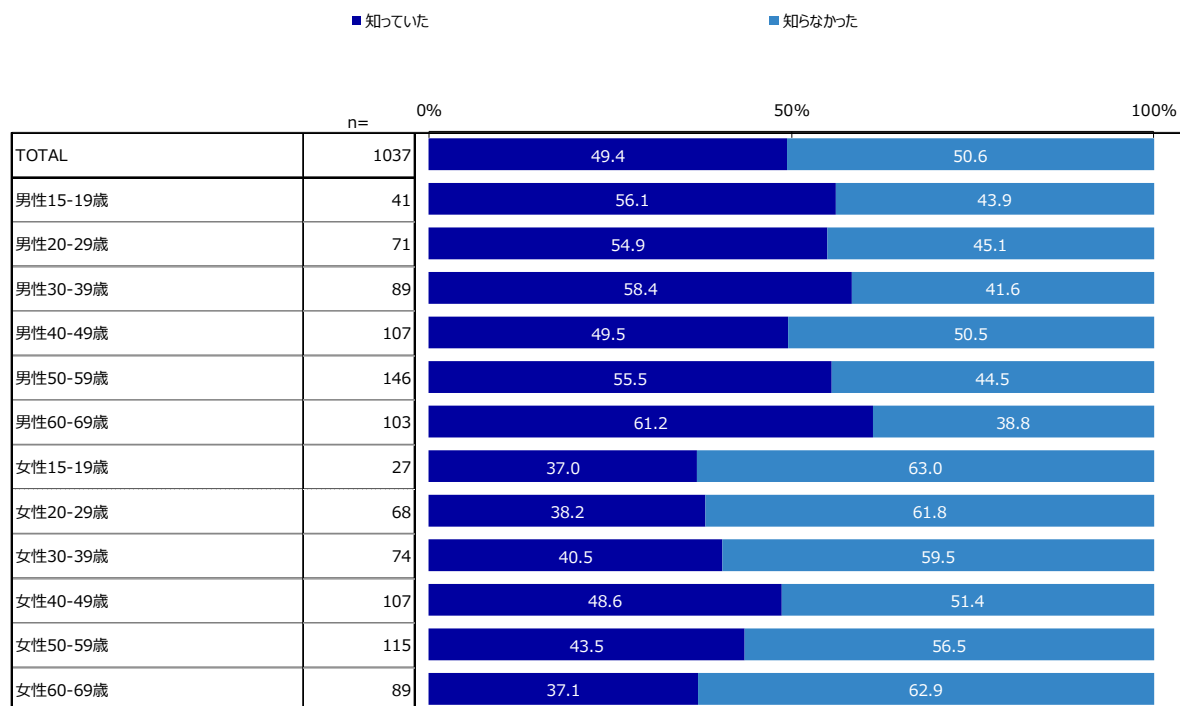
- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、62.6%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性60-69歳（75.7%）が他と比べて高い。一方で、「知らなかった」は、女性30-39歳（47.3%）、女性20-29歳（47.1%）が他と比べて高くなっている。



Q30 ペットボトルのリサイクルについてお聞きます。日本のペットボトルがほとんどリサイクルされていることを知っていますか。※ 日本国内のペットボトルのリサイクル率は85.1%（2024年度実績）で欧米と比べても高い水準です（米国19.6%、欧州42.7%、ともに2021年実績）。

## ペットボトルが再びペットボトルになる「ボトルtoボトル」の認知度（SA）

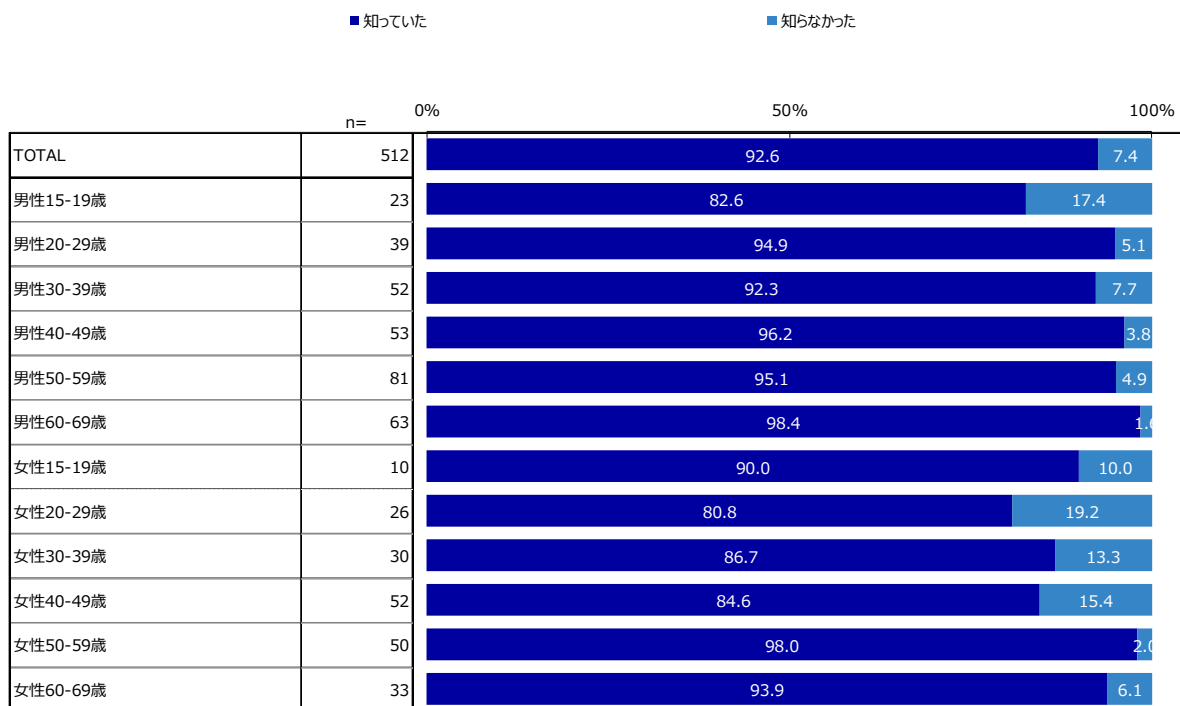
- TOTALでは、「知らなかった」が最も高く、50.6%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性（平均55.9%）の方が女性（平均40.8%）よりも高い傾向。その中でも、男性60-69歳（61.2%）が他と比べて高くなっている。



Q30 ペットボトルのリサイクルについてお聞きます。ペットボトルの“ボトルtoボトル”を知っていますか。※ 「ボトルtoボトル」はペットボトルがリサイクルされて新たなペットボトルになる水平リサイクルのことです。水平リサイクルは、使用済み製品を原料として用いて、同一種類の製品を製造するリサイクルのことです。

## 「ボトルtoボトル」が資源の有効利用につながることの認知度（SA）

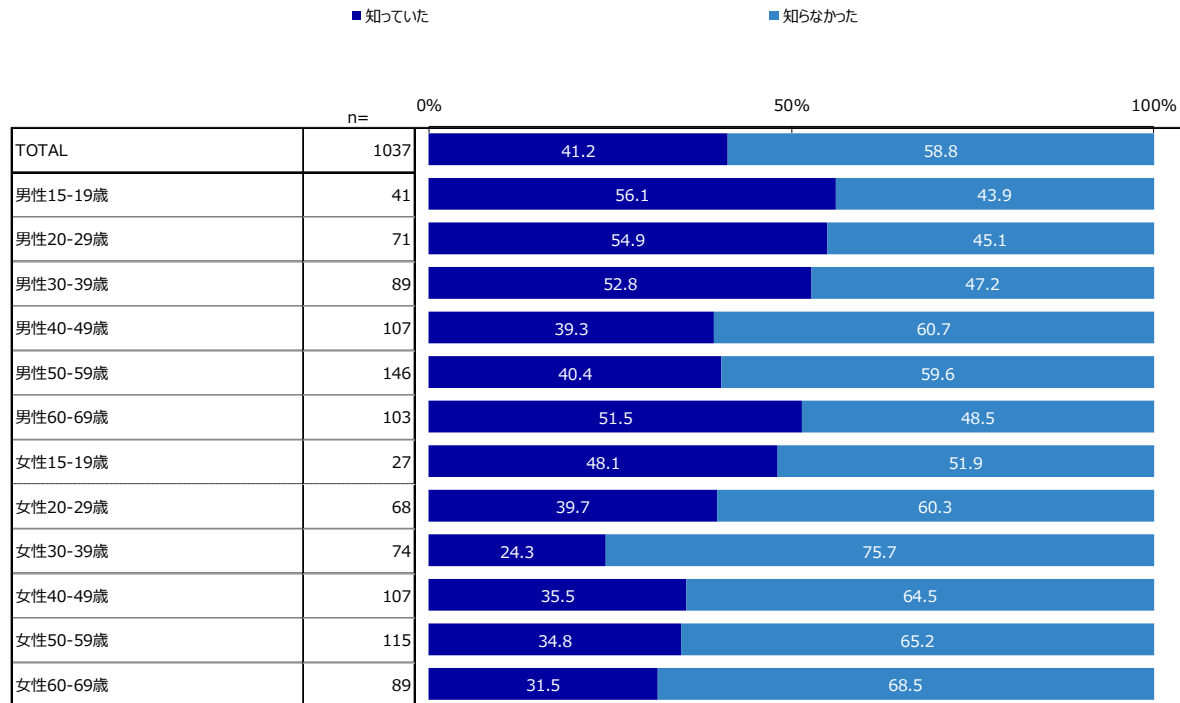
- TOTALでは、「知っていた」が最も高く、92.6%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は、男性・女性ともに全年代で80%を超えているが、その中でも男性60-69歳（98.4%）、女性50-59歳（98.0%）が他と比べて高くなっている。



Q31 ペットボトルの水平リサイクル『ボトルtoボトル』は、資源の有効利用につながることを知っていましたか？

## ペットボトルは単一素材であるためリサイクルに適していることの認知度（SA）

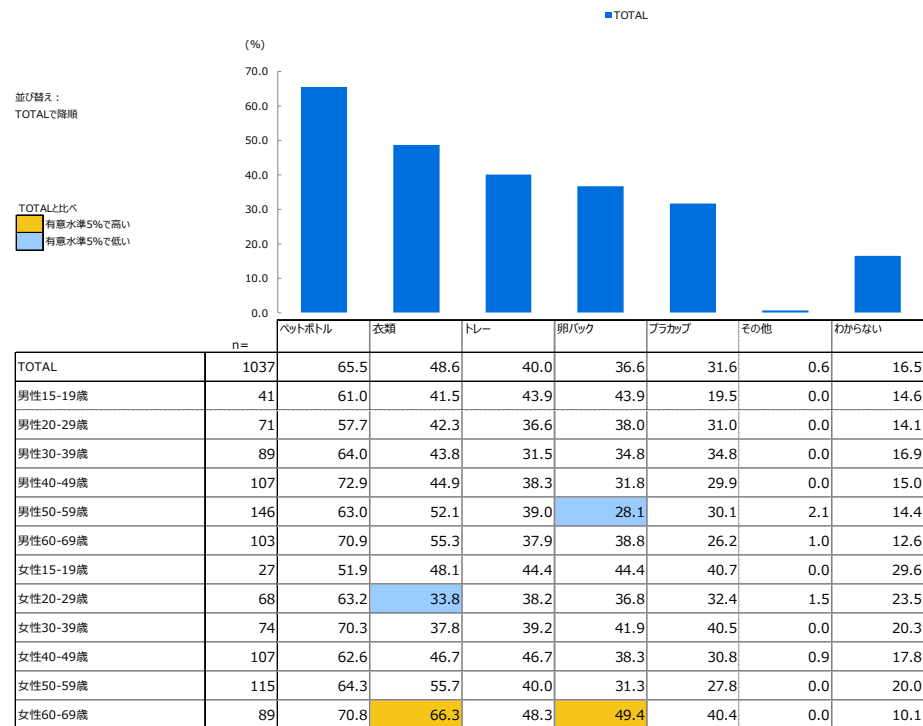
- TOTALでは、「知らなかった」が最も高く、58.8%。
- 性年代別にみると、「知っていた」は男性（平均49.2%）の方が女性（平均35.7%）よりも高い傾向にある。その中でも、男性15～39歳（15-19歳／20-29歳／30-39歳）が他と比べて高くなっている。



Q32 ペットボトルはポリエチレンテレフタレートという単一素材（※）でできています。そのためリサイクルに適していることを知っていましたか。

## ペットボトルはリサイクルされて何になると思うか（MA）

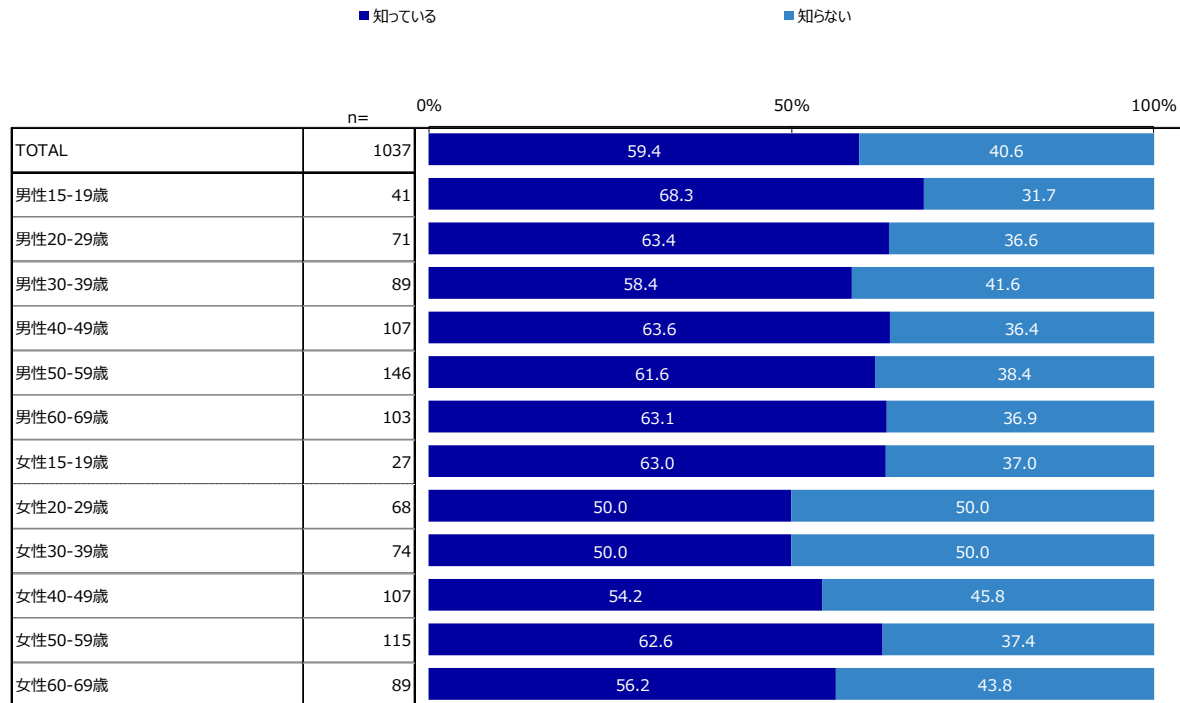
- TOTALでは、「ペットボトル」が最も高く、65.5%。「衣類」48.6%、「トレー」40.0%が続く。
- 性年代別にみると、「衣類」・「卵パック」は、ともに女性60-69歳（衣類：66.3%、卵パック：49.4%）が他と比べて高くなっている。



Q33 ペットボトルはリサイクルされて何になると思いますか。

## リサイクル材（リサイクルされたペットボトル）を使用したリサイクルペットボトルの認知度（SA）

- TOTALでは、「知っている」が最も高く、59.4%。
- 性年代別にみると、「知っている」は、男性・女性ともに15-19歳（男性15-19歳：68.3%、女性15-19歳※：63.0%）が他の年代と比べて高い傾向にある。※30s未満のため参考値



Q34 リサイクルペットボトル（※）を知っていますか。

## 今後、外出先（オフィスや学校などの屋内）で、飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルを外すことに取り組みたいか（SA）

- TOTALでは、「取り組みたい」が最も高く、44.0%。「←」26.8%、「どちらともいえない」25.5%が続く。
- 性年代別にみると、「取り組みたい」「←（取り組みたいより）」のTOP2は、女性60-69歳（TOP2：82.0%）、女性40-49歳（TOP2：80.4%）が他と比べて高くなっている。また、TOP1（取り組みたい）だけでみると、男性15-19歳（58.5%）が他と比べて高くなっている。



非表示：1%未満

Q39 あなたは今後、ペットボトルのリサイクルに関して次のことに取り組みたいです。外出先（オフィスや学校などの屋内）でも、飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外す

## 今後、外出先（街中や公園などの屋外）で、飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルを外すことに取り組むみたいか（SA）

- TOTALでは、「取り組みたい」が最も高く、42.5%。「どちらともいえない」27.4%、「←」26.0%が続く。
- 性年代別にみると、「取り組みたい」「←（取り組みたいより）」のTOP2は、女性60-69歳（TOP2：79.7%）、女性50-59歳（TOP2：79.1%）が他と比べて高くなっている。



非表示：1%未満

Q39 あなたは今後、ペットボトルのリサイクルに関して次のことに取り組むたいですか。外出先（街中や公園などの屋外）でも、飲み終わったペットボトルのキャップ、ラベルは外す

## 今後、外出先（街中や公園などの屋外）で、リサイクルボックスがないときは、飲み終わったペットボトルを自宅へ持ち帰ることに取り組みたいか（SA）

- TOTALでは、「取り組みたい」が最も高く、47.4%。「←」25.9%、「どちらともいえない」23.0%が続く。
- 性年代別にみると、「取り組みたい」「←（取り組みたいより）」のTOP2は、女性60-69歳（TOP2：86.5%）、女性50-59歳（TOP2：85.2%）が他と比べて高くなっている。一方で、男性30-69歳（30-39歳／40-49歳／50-59歳／60-69歳）は他と比べて低くなっている。



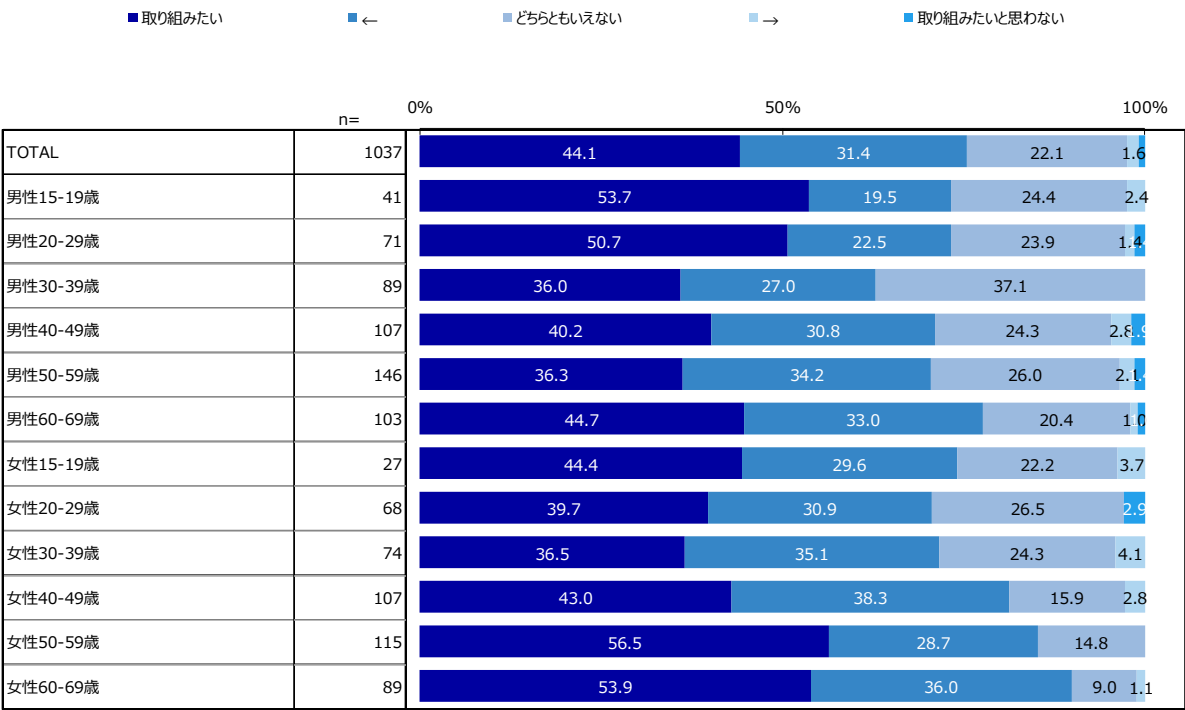
非表示：1%未満

Q39 あなたは今後、ペットボトルのリサイクルに関して次のことに取り組みたいですか。外出先（街中や公園などの屋外）で、リサイクルボックスがないときは、飲み終わったペットボトルを自宅へ持ち帰る



# 資源を大事にする活動に対する取り組み意向度（SA）

- TOTALでは、「取り組みたい」が最も高く、44.1%。「←」31.4%、「どちらともいえない」22.1%が続く。
- 性年代別にみると、「取り組みたい」「←（取り組みたいより）」のTOP2は、女性60-69歳（TOP2：89.9%）が他と比べて高い。一方で、男性30-39歳（TOP2：63.0%）は他と比べて低く、唯一TOP2：70%を下回っている。

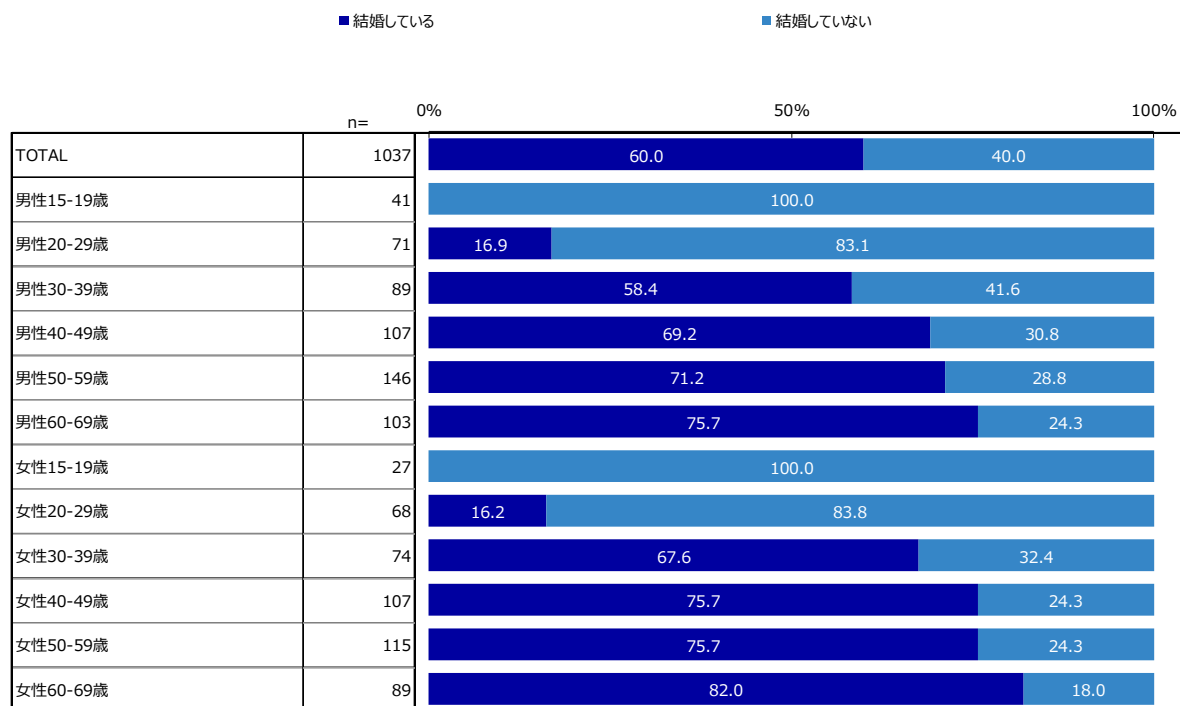


非表示：1%未満

Q40 資源循環を推進するために、資源を大事にする活動に取り組みたいですか。

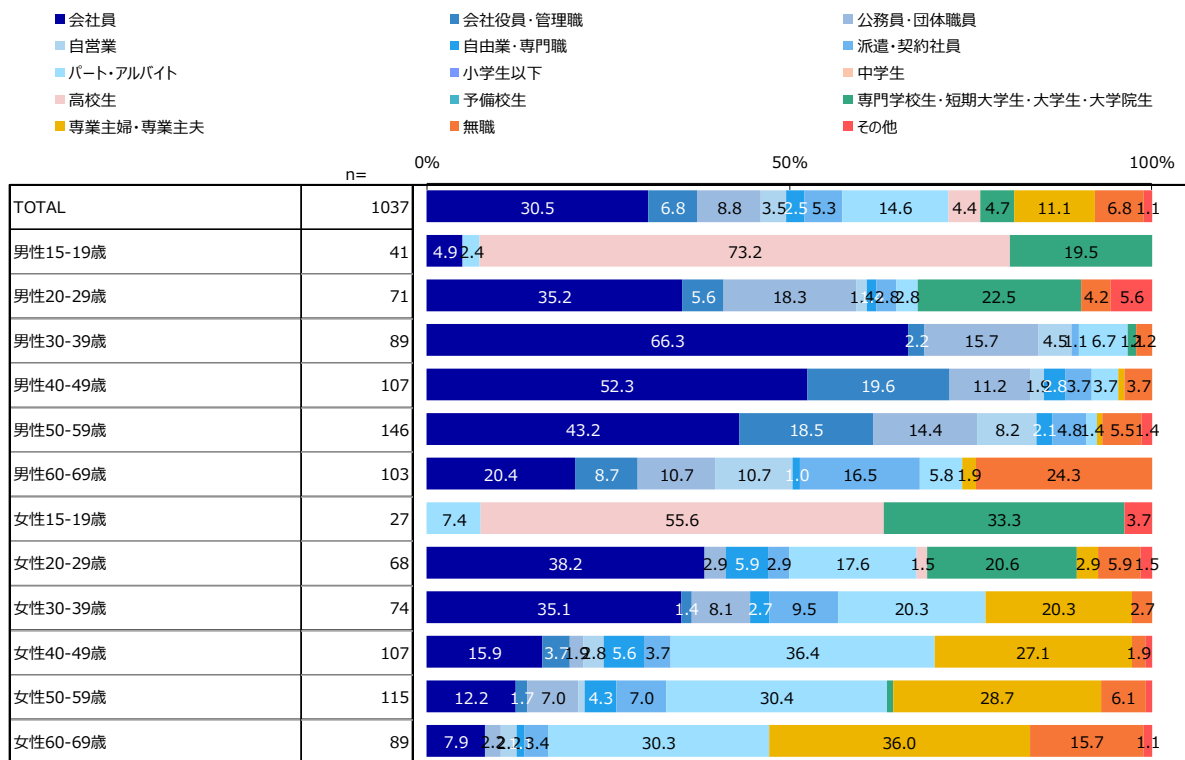
# Appendix

## [属性] 未既婚 (SA)



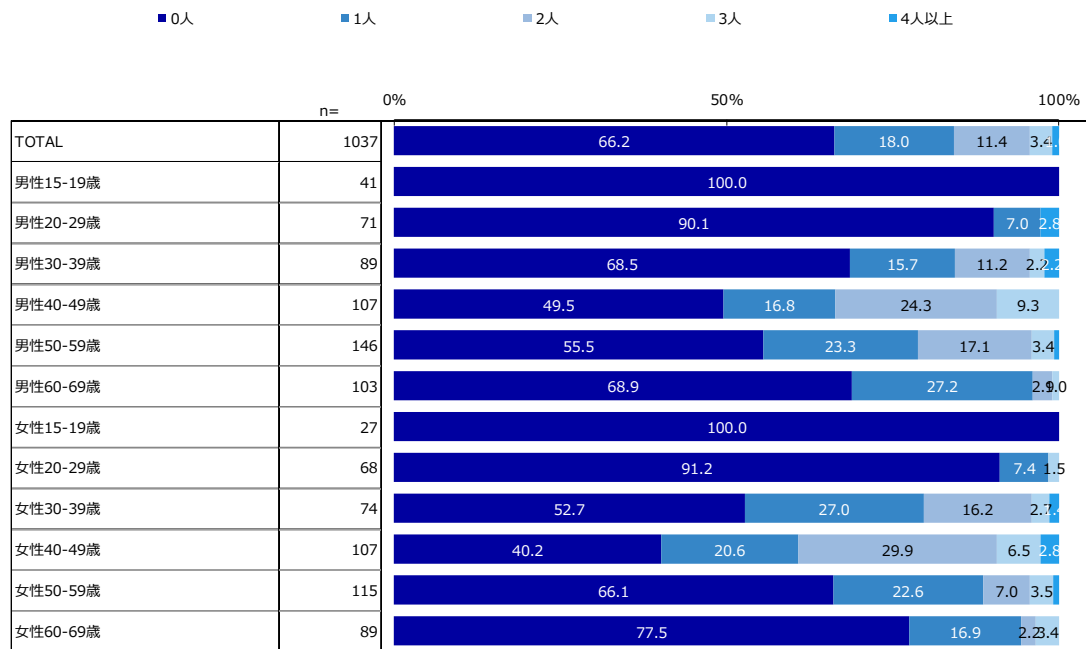
非表示：1%未満

## [属性] 職業 (SA)



非表示：1%未満

## [属性] 同居子供人数 (SA)



非表示：1%未満

